

Ⅲ 調査結果のまとめ

1 育ちをめぐる環境について

① 子育ての楽しさ

ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思うか（就学前：問8、小学生：問8、中学生：問8）については、「楽しいと感じることが多い」の割合が、就学前調査で71.8%、小学生調査で65.6%、中学生調査で65.9%となっており、楽しいと感じる割合が高くなっています。

② 子育てに関することで日常悩んでいること、あるいは気になること

子育てに関する不安や悩みはあるか（就学前：問9、小学生：問9、中学生：問9）については、「すごくある」と「少しある」を合わせた“ある”の割合が、就学前調査で80.0%、小学生調査で83.6%、中学生調査で79.2%と、ほぼ同様の割合となっています。子育てに関して日常悩んでいること、あるいは気になること（就学前：問10、小学生：問10、中学生：問10）について、子どもに関することでは、就学前調査で「こどもの教育・保育に関すること」の割合が61.6%と最も高く、次いで「こどものしつけに関すること」の割合が54.2%、「病気や発育発達に関すること」の割合が37.6%となっています。また、小学生調査及び中学生調査では、「こどもの教育・保育に関すること」の割合が最も高く、次いで「こどものしつけに関すること」、「こどもの友だちづきあいに関すること」の割合が高くなっています。

次に、自身に関することでは、就学前調査で「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が45.6%と最も高く、次いで「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が44.7%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が42.1%となっています。

また、小学生調査では「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が46.7%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が29.2%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が21.0%となっています。

平成30年度調査（以下、前回調査という。）結果と比較すると、子どもに関することについて、「こどもの教育・保育に関すること」の割合が、就学前で16.3ポイント、小学生で21.1ポイント増加しています。

中学生調査では、「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が49.9%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が20.4%、「特にない」の割合が19.5%となっています。

2 保護者の就労状況について

母親の現在の就労状況（就学前：問 19）については、「フルタイム」の割合が 37.7%、「パート・アルバイト等」の割合が 22.0%、「未就労」の割合が 26.6%となっています。

前回調査結果と比較すると、「フルタイム」の割合が 9.2 ポイント、「パート・アルバイト等」の割合が 1.2 ポイント増加し、「未就労」の割合が 10.9 ポイント減少しています。

父親の現在の就労状況の傾向については、前回と大きな変化は見られません。

3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

① 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況（就学前：問 22）については、「利用している」の割合が 83.3%、「利用していない」の割合が 16.6%となっています。利用事業は、「認可保育所」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「認定こども園（保育所部）」の割合が 27.0%となっています。

前回調査結果と比較すると、「定期的な教育・保育事業」を利用している割合が 12 ポイント増加しており、利用事業は、「幼稚園」の割合が 12.1 ポイント減少し、「認定こども園（保育所部）」の割合が 17.8 ポイント増加しています。

② 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業（就学前：問 23）については、「認可保育所」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 39.9%となっています。また、子どもの年齢別でみると、0歳では「認可保育所」が6割近く、「幼稚園」が約4割となっており、1歳、2歳では「認可保育所」が約4割、「幼稚園」が4割近く、3～5歳では、「認可保育所」が3割超え、「幼稚園」が約4割となっています。

前回調査結果と比較すると、「認可保育所」の割合が 2.7 ポイント、「幼稚園」の割合が 14.1 ポイント減少しています。さらに、「認定こども園」の割合が、「認定こども園（幼稚園部）」と「認定こども園（保育所部）」を合わせると 60.8%であり、14.3 ポイント増加しています。

4 子どもの病気の際の対応について

この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはあるか（就学前：問 26）については、「あった」の割合が 85.0%、「なかった」の割合が 14.4%となっています。お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法（就学前：問 26-1）については、「母親が休んだ」の割合が 77.3%と最も高くなっています。子どもの年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「母親が休んだ」の割合が高くなる傾向がみられ、1歳で最も高くなっています。

前回調査結果と比較しても、対処方法について、「母親が休んだ」と「父親が休んだ」の割合が共に増加しているものの、母親が休む割合が高い傾向に大きな変化は見られません。

5 不定期の教育・保育事業や一時預かりなどの利用について

不定期に利用している事業はあるか（就学前：問 28）については、「現在利用していない、今後も利用意向はない」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が 15.5%となっています。

前回調査結果と比較すると、「現在利用していない、今後も利用意向はない」の割合が 18.7ポイント増加しています。

6 地域の子育て支援事業の利用状況について

現在、子育てのひろばを利用しているか（就学前：問 31）については、「利用している」の割合が 19.0%、「利用していない」の割合が 80.7%となっており、子どもの年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「利用していない」の割合が高くなる傾向がみられます。今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思うか（就学前：問 32）については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 71.1%と最も高くなっています。

前回調査結果と比較すると、「利用している」の割合が 1.7ポイント減少しており、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 6.9ポイント増加しています。

7 放課後の過ごし方について

① 小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方

放課後どのような場所で過ごさせたいと思うか（就学前：問 34、小学生：問 28）については、就学前調査（5歳児対象）では、「習い事」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 58.5%、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が 44.2%となっています。また、小学生調査では、「自宅」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 61.7%、「放課後子ども教室（キッズスクエア等）」の割合が 40.0%となっています。

前回調査結果と比較すると、就学前で「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が 15.8ポイント増加しており、ニーズが高まっています。

② 小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方

放課後どのような場所で過ごさせたいと思うか（就学前：問 35、小学生：問 29）については、就学前調査（5歳児対象）では、「習い事」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 74.2%、「放課後子ども教室（キッズスクエア等）」の割合が 25.8%となっています。

また、小学生調査では、「自宅」の割合が 76.1%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 73.6%、「放課後子ども教室（キッズスクエア等）」の割合が 20.8%となっています。

前回調査結果と比較しても、就学前及び小学生の両方において、放課後過ごさせたい場所の割合に大きな変化は見られません。

③ 中学生の放課後の過ごし方

放課後どのような場所で過ごさせたいと思うか（中学生：問 23）については、「自宅」の割合が 75.5%と最も高く、次いで「学校（部活動等）」の割合が 64.0%、「習い事」の割合が 52.3%となっています。

8 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

お子さんが生まれた時、育児休業を取得したか（就学前：問 38）については、母親で「取得した（取得中である）」の割合が 57.8%となっており、取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 20.3%と最も高くなっています。

一方で、父親は、「取得していない」の割合が 79.0%と最も高くなっており、取得していない理由については、「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「配偶者（パートナー）が育児休業制度を利用した」等の多様な理由で取得できていないことから、企業も含めた仕事と子育ての両立支援の環境が必要であることがわかります。

前回調査結果と比較すると、母親の育児休業について、「働いていなかった」の割合が 10.1 ポイント減少する一方で、「取得した（取得中である）」の割合が 18.2 ポイント増加していることから、就労する母親が増加していることがうかがわれます。

9 芦屋市の今後の子育て施策について

① 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度

芦屋市における子育ての環境や支援への満足度（就学前：問 42、小学生：問 36、中学生：問 29）（1：満足度が低い、5：満足度が高い）については、就学前調査では、「3」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「2」の割合が 23.2%、「4」の割合が 18.0%となっており、小学生調査、中学生調査においても、ほぼ同様の割合となっています。

前回調査結果と比較すると、中学生調査で「1：満足度が低い」の割合が 7.6 ポイント増加しています。

② 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なこと

芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なこと（就学前：問 45、小学生：問 39、中学生：問 32）については、就学前調査では、「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「こどもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が 39.4%、「地域におけるこどもの居場所の充実」の割合が 32.2%となっており、小学生調査、中学生調査においても、ほぼ同様の傾向となっています。

前回調査結果と比較すると、「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が、就学前調査で 11.7 ポイント、小学生調査で 14.7 ポイント、中学生調査で 16.7 ポイント増加しています。

10 子ども本人の回答について

本調査では、計画策定に関する調査と併せて、家庭の経済状況にかかわらず子育て施策を広く展開していけるよう、保護者への調査において世帯の収入額を問い、小学生高学年本人と中学生本人への調査において、基本的な生活習慣（食事、起床・就寝時間等）、他者との関わり、自己肯定感等について問いました。

① 食事の摂取の状況

朝ごはんを食べているか（小学生：問3、中学生：問3）については、「週6日以上食べる」の割合が、小学生で93.2%、中学生で86.7%となっています。また、「ほとんど食べない」の割合が、小学生で1.9%、中学生で4.7%となっており、「週4～5日は食べる」「週2～3日は食べる」と合わせた“朝ごはんを食べないときがある”の割合は、小学生で5%を超え、中学生で10%を超えています。

夕ごはんを子どもだけで食べることがあるか（小学生：問7、中学生：問7）については、「ほとんどない」の割合が、小学生で83.1%、中学生で66.4%となっています。また、「ほとんど毎日」の割合が、小学生で4.3%、中学生で6.6%となっており、「週に4～5日」「週に2～3日」「週に1日程度」と合わせると、小学生で2割未満、中学生で3割以上が夕ごはんを子どもだけで食べるとうかがわれます。

② 自分にはよいところがある

自分にはよいところがあると思うか（小学生：問24（1）、中学生：問24（1））については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が、小学生で87.5%、中学生で89.1%となっているものの、小学生、中学生ともに「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が1割を超えています。

③ 自分には将来の夢や目標がある

自分には将来の夢や目標があるか（小学生：問24（3）、中学生：問24（3））については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が、小学生で77.8%、中学生で68.7%となっており、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が、小学生で約2割、中学生で3割を超えています。小学生に比べ、中学生で“思わない”の傾向が強くなっています。

④ 頑張れば、いいことがある

頑張ればいいことがあると思うか（小学生：問24（5）、中学生：問24（5））については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が、小学生で93.8%、中学生で86.8%となっており、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が、小学生で1割未満、中学生で1割を超えています。「自分には将来の夢や目標がある」と比べ、小学生と中学生で“思わない”の割合に大きな差は見られません。

⑤ 相談できる人がいるか

心配ごとや悩みがあるとき、話したり、相談したりできる人がいるか（小学生：問 26、中学生：問 26）については、小学生では、「家族のおとな」の割合が 78.7%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が 45.9%、「学校の先生」の割合が 30.0%となっています。

中学生では、「家族のおとな」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が 59.7%、「学校の先生」の割合が 23.2%となっています。

小学生に比べ、中学生の回答で、「学校の友だち」の割合が高くなっていることから、年齢を重ねるにつれて友だち付き合いが深まっていることがうかがわれます。

IV 自由意見

1 就学前保護者

分類回答	件数
(1) 家庭における子育てへの支援	
① 多様な子育て支援サービス環境の整備	106
② 子育て家庭への経済的支援	272
③ ひとり親家庭の自立支援	4
④ 親と子の健康づくりの推進	7
⑤ 子育ての悩みや不安への支援	31
(2) 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
① 就学前教育・保育の体制確保	94
② 小学校への円滑な接続	7
(3) すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
① 地域における子どもの居場所づくりの推進	39
② 安全・安心なまちづくりの推進	26
③ 児童虐待防止対策の推進	6
④ 配慮が必要な子どもとその保護者への支援	39
(4) 仕事と子育ての両立の推進	
① 仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	30
② 産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	3
(5) その他	80

※頂いた意見は原文のまま使用しております。

※【 】内はお子さんの年齢です。

項目	主な意見
基本目標1 家庭における子育てへの支援	
多様な子育て支援サービス環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・「こべっこらんど」みたいな子供が遊べる施設【3～5歳】 ・地域で遊べる場（むくむく、バンビなど）でとてもお世話になってます。産後の保健師さんの家庭訪問や、保健センターでの子育て相談、栄養相談などはいろいろ相談できてありがたかったです。【0歳】 ・箕面市から4月に引っ越してきたばかりなので詳しくは利用してません。2歳越えると、行ってみた子育てセンターは赤ちゃんばかりで利用しなくなりました。2歳は出来ることが増えるので、こども園ではなく公立潮見幼稚園などの方が、レベルの高い先生や、環境、イベント提供してくれるため、3歳から入れたかったのですが…公立が2年は残念です。箕面だといろんな幼稚園に連れて行ってたこともあり、芦屋市は私立幼稚園も少なく、正直選べないかなと。周りはこども園ばかりで、いろいろ見ましたが保育色が強いので正直うーん…とってしまいました。西宮浜にある私立いるか幼稚園か、東灘区の私立青い鳥幼稚園かで悩みましたが、最終的には、1年だけ近くのこども園にいれてその後公立幼稚園にする事に決めました。【不明】 ・神戸市のような、色んな地域からでも行きたいと思えるような子育て広場ができればいいと思います。芦屋市在住の方限定にしなくていいと思います。公立中学や高校へ進学したいと思えるように教育内容を充実してほしい。ラポルテの駐輪場の数が少なすぎる。毎回待つので、子供を駅中の病院に連れて行くときに時間通り行けない事が多々あります。子連れで自転車を気軽に利用できるように駐輪場を増やして欲しい。翠ヶ丘町へ行く JR の踏切が開かずの踏切。踏切が開いた途端にすぐ閉まるので子供達がいつも急いで走って通っており危ない。踏切内の歩道も狭すぎる。街中がきれいで治安もよくとても過ごしやすいです。通わせている保育園の子供たちも攻撃的な子は少なく、先生や親の教育もしっかりしている印象です。【1～2歳】 ・芦屋市は他の市町村に比べて公園が充実しており、子どももののびのび遊ぶ事ができ、ベビーカーを使わずにすむ状況が作りやすいため本人の運動能力も向上しやすいように感じます。また、他年代が公園を利用している様子を見て子が何か考えたら感じる事もあるようで、発育にも良い影響がありそうです。ありがたいので公園の充実は今後も継続してほしいと思います。図書館も利用しやすく大変助かります。私の蔵書だけでなく、さまざまな本に触れられる機会を子に提供できて助かっています。図書館内の子ども用ベンチも解放的で良いです(大人とゆるくエリア分けしてくださっているので、子が「これなに?」「よんで」と言ってきた時に対応しやすいので嬉しいです)【3～5歳】

項目	主な意見
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育やこども園については、特に不満なくありがたいと思っています。子ども医療費助成の所得制限をなくしてほしい。発熱したら毎回6,000円ほどかかる。ギリギリで制限にひっかかる家庭なので、負担が大きすぎる。また、上の子が小学校に上がっても下の子の保育料半額を継続してほしい。下の子の入園のタイミングで上が小学校にあがり、対象外だった。3～5歳も保育料無料なのだから、同じようにしてほしい。小学校の給食が始まるのが遅く、終わるのが早い。特に1年生は4月末までなく、働きながらのお弁当作りが本当にしんどかった。隣の神戸市は1年も他学年と同時に始まるし、終業式の日まで給食がある。終業式前日までくらいまでしていただけると助かる。共働きが増えている中、神戸市などは保護者負担軽減のために学校が色々工夫してくださっている。子ども医療費もそうだが、住む場所によって不公平が生じるのは…とってしまう。以上の改善を早期にしていただけを切に望みます！！今後も住み続けられるように、よろしく願いいたします。【3～5歳】 ・高校からの学費を免除、一部負担にして欲しい【3～5歳】 ・保育料が高すぎて、何のために仕事をしているのかわからない。世帯収入があっても、月に5万も6万も保育料を取られるとそれだけで生活が苦しくなる。また、どうしても時短勤務をしないとイケない状態で収入も減ってしまい、預かりの時間も短い施設ばかりなので、キャリアを積み上げていけない。0～2歳児もぜひ保育を無償化してほしい。【1～2歳】 ・小学校の給食は始業式から終業式まで提供してほしい。大阪市内では実施されている。大型の公園に作ってほしい。公園は基本綺麗に整備されているのは良いが、たまに雑草等の手入れができていない公園も見かけるので、虫対策のために手入れしてほしい。【1～2歳】 ・西宮市のように18歳まで医療費がかからないように工夫してほしいです。うちは喘息児、アレルギー一般のトラブルが多く皮膚科や小児科、常用薬、発作が多ければ通院の他に入院もあります。時間外の診療など、医療費がかさみます。気軽に病院で見てもらえるように収入に関わらず、神戸市、西宮市のように無料とまではしなくても、400円まで、800円までと補助をしてほしい。切実です。【3～5歳】 ・近隣他市に比べ、子育て政策の優先度の低さを実感します（特に理不尽な所得制限関連への対応や保育料の高さ）。今後の芦屋市を担う若年層が子供を持つための金銭的なサポートに欠けるため、安心して子育てができません。周囲でも西宮市や明石市へ引っ越し友人が増えています。早急に改善を希望します。【3～5歳】 ・できるだけ早急に、子供医療費の改善を求めます。無料か3割負担かなんて、おかしいです。共働き世帯が芦屋から離れる気持ちよくわかります。【0歳】 ・私たちは、子供の小学校の進学先として神戸市のオルタナティブスクールか、または別の都道府県にある類似の学校を検討しています。その関連で、神戸市のオルタナティブスクールに通われている先輩方からは、芦屋市は神戸市と比べ、オルタナティブスクールに通いやすい枠組みになっていると伺っています。この点は芦屋市に引っ越して初めて知りまして、とてもありがたいと思いました。また、東京都から芦屋市に引っ越してきたので、その比較になりますが、これまで子供が病気になった際に、病院に関連する費用は全て無料だったので、芦屋市に来て自己負担分があることに驚きました。東京都とは得られる税収の大きさが異なるので理解はしていますが、面食らいました。また、こちらに引っ越した際、一時期保育所へお世話になっていたのですが、保育所の預かり時間が5時までであり、ほとんどの保護者の方がそれよりも早い時間帯にお迎えに来られることには、かなり驚きました。両親ともにフルタイムで働いている場合、職種によるのかもしれませんが、17時にお迎えに行くことはかなり難しいという先入観が私にありました。そのため母親、父親のどちらかが負担を強いられているのでは、というぬ

項目	主な意見
	<p>心配をしました。東京都では19時までには預けることが可能であったため、その点との比較でそう感じているのかもしれませんが。【3～5歳】</p>
ひとり親家庭の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭にもっと充実した環境を整えて欲しいです【1～2歳】 ・中学生となると、部活用品や制服にお金がかかります。息子も1年で20cm背が伸びましたし、靴も3cm大きくなりました。陸上部ではスパイクが必要で、経年劣化やサイズアウトで3万近くするスパイクを頻繁に買い換えます。一人親世帯ではしんどいのでは？と思いました。ちなみに我が家もしんどいです。【3～5歳】 ・もっとひとり親に対して支援などをしてくれたら嬉しいです。子供の遊ぶ大きな公園などができたらもっといいとおもいます。【3～5歳】 ・母子家庭に対する支援を充実してほしいです。扶養手当をもらえる年収の設定が低いですし、保育園入園にあたって、点数が低いので基準の変更を検討してほしいです。ファミリーサポート、病児保育の利用料が安ければ、より気軽に預けられ、金銭的、体力的、精神的にも楽になります。検討宜しく願いいたします。【3～5歳】
親と子の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の健康には食事が何より大事だと思います。なので給食にオーガニックを取り入れたり、小麦は発がん性があるため控えるなどしていただきたいです。牛乳に含まれるカゼインは腸に悪いので毎日飲む必要はないと思います。昔と比べママ友同士の距離があるように感じるので、保育園でママ同士が交流できる場があればいいなあと思います。【1～2歳】 ・芦屋市の給食を一般の人でも夕食に食べられるような食堂がほしい。【1～2歳】 ・地域の集会所で行っている子ども食堂やイベントによく参加しており、低価格でおいしいごはんを食べさせることができ助かっている。人の目を気にしすぎずに親も子どものびのびと学び過ごせる環境で子育てできると良い。【1～2歳】 ・期限が過ぎてしまいましたが、協力できて嬉しく思います。公立の小中学校の教育、食育の充実を希望します。【1～2歳】

項目	主な意見
子育ての悩みや不安への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・まず家庭が大切だと思っておりますし、基本は家庭ですべきことではないかと思うことが多いです。そこを軸に様々な関係機関等を活用しながら、子どもの成長を見守っております。生活をしている中で、芦屋市（独自）の施策を感じることはあまりありません。私は他県出身で他市に住み結婚で芦屋市に来ましたが、だいたいどの市でも似たような取り組みかと思えます。明石市は突出しているようですが。聞いたことある話としては、芦屋市の給食はおいしいと言うことぐらいです。現在の市長が教育に力を入れるとのことで楽しみにしております。私自身、福祉関係の管理職をさせていただいております、組織や団体が変わっていくことはとても大変と理解しております。市長が大切にされている通り真摯に対話をすれば理解されるされる方も増えることと思えますので、是非がんばっていただきたいと思えます。話が逸れましたが、取り組みなどは独自性かつ発信力がないと情報量の多さに気付かれないことも多いので、広報の工夫が必要かと思えます。【1～2歳】 ・赤ちゃんの頃に看護師さんが自宅訪問に来てくださったこと、保健師さんが自宅に来てくださった時は心強くてとてもありがたかった。子の年齢があがると悩むことも都度変わっていくのでできれば中学生まで相談できるなんらかの人が訪問してくださると子育ての不安が軽くなる人もいるのではと思う。特に自分のような人見知り激しく子育てグループに行くのは苦手だけど子育てについて話したいことがあるというような人にはありがたいです。子供医療費助成は収入額によらず全ての人が助成を受けれるようにして欲しい。他市では中学生・高校生まで医療費無料制度があると知ると、芦屋市は住民税高いのどうして収入によって有料なのかしらと思ってしまう。また、明石市が実施している第二子以降保育料無料はぜひ芦屋市でも実施していただきたい。芦屋市でも非課税世帯は第二子から無料だが、それでは第二子でお金がかかると感じた非課税世帯以外の世帯は第三子を作ること自体諦めてしまう。今現在を見て支援が必要かどうかで決めるのではなく、将来を見据えての支援というのをもっと増やして欲しい。毎週どこかでイベントがありチラシを受け取るので、芦屋市さんが助成してくださっているおかげで色んなイベントがあって子供と共に色んな経験ができるんだろうなと思った。ありがとうございます。【3～5歳】
子育ての悩みや不安への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・出産ギリギリまで働いていて、いきなり世界が変わり、ママ友もおらず育休中は孤独を感じていました。子供の夜泣きも酷くフラフラな状態でしたが主人は帰りが遅く、近くに私の母親が住んでいなければ、ノイローゼになっていたと思います。子供が産まれるまで芦屋市のサポート機関がある事も全く知る機会がなかったので、もう少し市民にアプローチがあっても良いのかなと思います。これは芦屋市への不満ではないですが、子供を持ちながら働き続けるという事がどんなに大変な事が身に染みる毎日です。毎日葛藤しています。職場の若い世代が私の姿を見て、将来を夢見る事が出来るのか疑問です。熱が出て、しんどそうな子供の側に居てあげたいと思う事は贅沢な事なのかなと悩みます。第2子も出来れば産みたかったですが、経済状況等が不安できちんと学びの環境を整えてあげる事が出来ないなら産めないと思ひ諦めました。子供を産んでも大丈夫、国が市が手厚くサポートしてくれると思えたら兄弟も作ってあげたかったです。夫婦2人会社員共働きで子供1人ならどうにか衣食住に困らず、やっていけるかなという感じです。日本に未来なんてあるのでしょうか。こんな日本に産み落としてしまっただごめんねと思います。【3～5歳】

項目	主な意見
基本目標2 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
就学前教育・保育の体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ・一時帰国の子供にも日本の幼稚園を体験させてあげたい。【3～5歳】 ・近くの公立幼稚園は2年保育だったので、私立の幼稚園に入園しました。芦屋の公立幼稚園も3年保育であれば良いと思いました。私は3歳になった翌月から通える満3歳児保育のある幼稚園を探して入園させましたが、そういうものが公立幼稚園でもあれば良いと思います。未就園児を連れて遊びにいける場所が少ないように思います。園庭の開放も週に1日決まった時間のみなので、いつでも行ける場所がある他の市町村が羨ましかったように思います。例えば尼崎市にはJRの立花駅の近くにいつでも開いている子供の支援センターがあります。芦屋市の場合は私の場合、立地が合わず、時間も限られていたように思います。また、神戸市では温泉クーポンのようなものがあり芦屋市でもあれば良いのにな、と思います。また、子供の医療費無償化や子供手当について所得制限の撤廃を希望します。街全体で子供を育てられるような、それぞれの個人の強みを地域に還元できるような芦屋市であることを望みます。【0歳】 ・近くの保育園が2歳以上のため1歳児を預けられず、遠くのこども園に通っています。子どもを預けやすい保育園であってほしいです。土日のリフレッシュのために預けられるところがありません。費用の高い託児所しかなく、困っています。土日で就労目的以外で子どもを預けやすい施設、サービスを求めます。【3～5歳】 ・保育園について、希望する園に希望する時期に入れるような工夫をしてほしい。現在、最寄りの保育園から徒歩15分程度離れた園に通っており、駅とは逆方向のため通勤と併せての移動負担が大きい。小学校の学区制のように、原則市立施設は近隣住民を優先する等の制度がほしい。また、希望する時期(1歳以降)は徒歩圏内にある園全てが入園倍率が高い(4-5つ希望を出しても通らない可能性もある)と市役所で伺い、0歳で少し家から離れた園に入園したが、できることなら1歳まで自宅で過ごしたかったと感じている。市内には定員に満たない園もあるようなので、希望が多い園に保育士の配置転換もしくはヘルプ制度などを取り入れて、希望者の受け入れ拡大を図ってほしい。【1～2歳】
就学前教育・保育の体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ・今小6、小2、保育園児1人、の3人子育てしています。国の政策でも話題になっていた、子供の人数のカウントの仕方は改善してほしい点です。我が家の場合、3人目が2歳児の時、我が家の保育園児が一名だったため、一年間は全額保育料となり、次女も学童代も一人目のカウントだったため家計がかなり辛い一年でした。産んだ年の差によって半額や免除になる方もいたり、逆に全額負担が3年にわたる方もいるかと思えます。産むにも環境や体調面など状況は十人十色のはずですが、2人目や3人目には変わらないので、その差が無いような施策を行っていただけると今後子育てされる方も有難いのではないかと思います。食育に関しては保育所には大変工夫しつついただいていると思い感謝しています。先生方もとても配慮があり、園庭で元気に駆け回れ安心して預けています。私立であっても市に認可されている、というのは親にとっては安心の一つかと思えます。その分、認可後も継続して監査をお願いいたします。【3～5歳】

項目	主な意見
基本目標3 すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
地域における子どもの居場所づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・上の子が小学生ですが、児童が放課後過ごす場所としてはもっと選択肢があると良いと思っています。特に、学童保育の時間中に習い事や勉強の指導が受けられる場があると良いです。公立の学童保育と民間および地域の習い事との連携などがあってもよいと思います。実際、平日は保護者の引率が難しいため、土日に習い事をしています。ただ付き添いや送迎で土日が過ぎてしまうのがいささかもったいなく感じます。希望としては土日は旅行やキャンプなど家族の時間に充てたいものです。【3～5歳】 ・昔は地域のお年寄りともっと交流があったように思います。夏祭りで竹細工を教えてもらったり、竹箆編みを教えてもらったり。そんな交流が今もしてみたいです。上宮川文化センターを改装してあげてほしい。こないだ修善したわりに、変わってなくてびっくりです。綺麗にして欲しいし、もっと利用できるように宣伝してあげてほしい。【3～5歳】 ・低学年の子供が1人で図書館を利用できるようなサービスがあると嬉しい。時間やエリアを区切ってでも、利用サポートしてもらえるような人がいると安心していかせられると思う。不審者が多く、公共施設でも1人は不安があるので付き添う事になっている。【3～5歳】 ・仕事に行く時間と学校に行く時間がかぶっていて、小学校に入る時少し心配しています。土曜日とか夏休みの学童に行く時間を朝もう少し早くして欲しいと思いました。【1～2歳】
安全・安心なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・20年ぶりの出産でした。色々考え方も変わってきてはいますが、意外と芦屋市は道路の舗装などが行き届いていなかったり、色んな施設のエレベーターが狭かったり…お年寄りがたくさんいる割には、小さな子供を持つ人やベビーカーで行動するには不便だと思います。また、保育料が高く働く意味がまったくないほどです。産前より残業もできない、子どもの体調不良で休まないといけないうのに保育料の負担が大きすぎると感じます。離婚していないからといって決して楽ではないのに配偶者がいる、収入があるというだけで全く加味されないのは一度検討していただきたいです。東京や大阪は年齢関係なく保育料無償化の話が出ているのに芦屋市はまったく出てこないのが不思議です。またJR沿線に保育園がまったくなく、通勤するのに遠くまで送っていかないといけないのでその分また仕事の時間が削られてしまう。子供は大事ですし、仕事、仕事となるより、子供との時間を大事にしたいが、働かないと生活していけないのに保育料がたかく、負のループだなど感じています。新しい市長さんになって、お若いですし、お年寄りも大事ですけど、小さな子供たちがこれから将来活躍してってもらわないといけないと思うのに、また子供を産みたいという気持ちになれないのが残念です。お金持ちの方が多く、治安が良いのはとても安心して生活できますが、一般庶民な私達の家庭はなんとなく肩身が狭い思いがあります。また福祉施設が遠く、車を持っていないのにバスの本数も少なく健診なども指定された日に大変な思いをして1人でつれて行かなければならないのが辛いです。仕事も休まないといけないし、木曜日しか実施されていないことに驚きです。もう少し融通をきかしてほしいです。【3～5歳】 ・子供たちが安心して登校、登園できるよう道路整備をお願いしたい。交通量が多いにもかかわらず歩道がなかったり、歩道が一部途切れていたり、歩道上に路上駐車する車があったりと、子供たちが安全に登校・登園できない場所が多いので、改善をお願いしたい。また、全ての子どもが平等に公的支援を受けられることが重要であると思う。財源の制限があることは理解するが、親の所得によって子どもへの支援が異なるのは、本人の合理的支配可能な事由を超えた差別的取り扱いではないか。一部の超高額所得者を除き、各種制度の所得制限にかかる保護者は税負担も大きく、物価高騰の影響もあり、将来の学費等に不安がない

項目	主な意見
	<p>わけではない。それにも関わらず、子どもに関してほとんど支援を受けることもできず、不公平感が募る。それにもかかわらず、市議会は JR 南側再開発事業ばかりで、子育て支援と口にするだけで全く期待が待てない。子育て支援の充実した地域への転居も検討している。【3～5歳】</p>
<p>児童虐待防止対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校等の学級崩壊についてよく聞くので改善してほしい。【0歳】 ・ 教育に関しては市長の個別の能力に応じた教育に期待しています。小学校でのいじめのニュースを見たのですが、いじめがあったにも関わらずその認定すらも遅い環境は改善してもらいたいです。被害者側が登校できなくなるのではなく、加害者側の本人、親との面談やカウンセリングを行い被害者との和解を目指すなどきちんと取り組んでもらいたいです。将来子どもが通うかもしれない小学校なので、教員、教育機関、市がいじめを認めて対応してもらえないと誰を頼ればいいのか不安に思います。【1～2歳】 ・ 小学校の先生のレベルが違う。いい先生もいれば、何か毎日ヒステリーに怒ってる先生もいて(先生もお忙しいのは理解しています)、先生達の環境な改善やリフレッシュも必要では?と思いました。【3～5歳】 ・ 公立小学校のいじめ、学級崩壊への適切な対応。【3～5歳】 ・ いじめ防止に関する教育はしっかりしてほしい。暴力や仲間外れ等日常生活態度に関することはもちろんですが、特に SNS が身近な存在となっている昨今においては、スマホやタブレットなどの使い方、リスク面について、授業としてしっかり教えてほしい。放っておくと子供はスマホやタブレットをただの便利で楽しい遊び道具として認識してしまいます。誤った使い方をすると人命を奪ったり、犯罪に巻き込まれたりすることがあることを小学生のうちから認識させてほしい。また、小学校、中学校といった義務教育期間における携帯電話の所持利用について、芦屋市の明確なルールを設けてほしい(校内での利用禁止等)。子供を育てる上で、教育や医療にかかる補助や助成(制度や経済面)をより手厚くしてほしい。【3～5歳】
<p>配慮が必要な子どもとその保護者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2歳の発達障害の男の子を育てております。児童発達支援施設を利用しており、ぜひ改善いただきたい点が2つございます。1つ目は受給者証の利用日数について。芦屋では10～15日/月と聞いているのですが、神戸・西宮では20日ほど出るとのことで地域差が大きいように感じます。2つ目は保育園との併用について。児童発達支援施設を利用した後は保育園に登園することができないのはなぜでしょうか。共働きの立場としては保育園に預けられるようにしていただきたいです。芦屋市内の児童発達支援施設に見学へ行くと、午前中は空き枠がたくさんありました。午前療育→午後保育園というのが芦屋ではできないからではないかと思います。1つ目は予算の関係等で難しいのかもしれませんが、2つ目の制度においては早く改善いただけましたらと思います。様々な支援を受ける立場になり、市の支援には本当に感謝しております。自分の子どもが発達障害だとわかり、少しでもよりよい人生を送ってほしいと思いながら、保育園と児童発達支援施設を併用しています。発達障害の子の親という少数派の意見ではあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。【3～5歳】

項目	主な意見
<p>配慮が必要な子どもとその保護者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芦屋市は小学校で、インクルーシブを取り入れていると聞いていますが、周りの評判からは、うまくできていない&インクルーシブはしない方がいいとできっこない、それは、インクルーシブをうまくするには、色んな経験豊富なスタッフが充実していないといけない、上手く行われている所はない。今の芦屋の状況は人手不足な状況だから、周りの市のようにした方がいいと聞いていますが、まだインクルーシブをされるんですか？初め、インクルーシブの内容を聞いた時、すごい良いなと思いましたが、やはり、一人一人にあったというのは、厳しめに等しいと思います。ニュースの話題作りではなく、周りの市のように普通に手厚く教育をして欲しいです。娘が発達障害なので、不安でしかありません。芦屋の市職員の方々はインクルーシブを誇りに思っていますが、専門家からは全くその評価を得てないのを、市長はご存知なんでしょうか？インクルーシブが成功できたら素晴らしいですが、それは夢の目標です。もっと専門の先生方に意見を聞くべきです。一刻も早くやめてもらいたいと思います。でないと、心配でたまりません。小学校に行くのが嫌と言わないような学校作りをしてもらいたいと思います。娘の様な発達障害を知るまでは、学校に行くのが当たり前。なんで行かないのと思っていましたが、発達障害の場合、学校に行くのも大変、行ったら行ったでその空間にいるのも大変。勉強するとなると、もっと大変。そんな状況なので、先生が足りなければ何も始まらない。まずは、先生を補充して、専門的な人も追加して下さい。芦屋市には、特別支援学校があると思われるかもしれませんが、そこに行かすともっと成長が遅くなる可能性があるのも、普通の学校で、少しでも手を差し伸べて貰えたら普通の学校に行くのにといい親が多数いらっしやると聞いています。幼稚園保育園の加配審査の人数も、いつも以上に多いと聞いています。コロナで子供のコミュニケーション不足から、そういう子供も増えていると思います。なので、インクルーシブとうたっているのではなく、普通にスタッフを増やし対応してもらいたいです。【3～5歳】 ・ 上宮川児童センターの子育てフリー相談を、幼稚園に入園するまでに何度も利用した。発育の遅れや、トイレトレーニングで失敗した事、食事について等の相談をさせていただきました。ベテランの相談員の方からのアドバイスや励ましに安心できました。また、相談に来られていた方との情報交換もできたのが良かった。【0歳】

項目	主な意見
基本目標4 仕事と子育ての両立の推進	
仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てというより、子育てしながらでも仕事をしやすい施策が必要だと思えます。時短勤務をしていて退職時に気まずい思いをしたり、残ったメンバーに負担をかけることがツライです。時短勤務をする社員がいる企業やその同僚に、人員や給与などの追加付与をするなどが一番良い。子育て支援をいくら充実させても周囲(特に職場)の理解がないと難しい。【3～5歳】 ・公立の幼稚園に通っています。給食だったらありがたいですがお弁当。保育時間が短い。12時までの日が週に2日もある。預かりでも16時まででは短い。働き出したくても働けない。芦屋市では働きながら子育ては出来ないなと思いました。母親が皆、主婦前提のサポートの仕組みなのかなと思います。他の市町村でもまだ難しいですが、芦屋が母親も働くことが選択できる地域になれば素敵だと思います。しかし、芦屋に来て預かり時間が短くなったせいか、子供が休みたいと言わなくなり、風邪も引きにくくなったように思います。何故半日の日があるのか、理由があるなら知りたいところです。本音を言えば毎日2時半まで預かってもらえて、給食だったらいいのと思います。【3～5歳】 ・保育所に入所する時に、今現在の会社から離職するように言われて、パートタイムになったが、保育所には正社員じゃないと入所できないと言われた。会社が決まっていなかったら保育所に入所できない、でも会社も保育園が決まっていなかったら働けない矛盾に悩みました。また、雇用保険に入りたいが、保育園の入所規定にも反しないように時間の調整するのが難しかったと記憶しています。また、国からの育児給付金などのお金が半年以上経っても届かなかったこともあり、復帰する前、子育て中に不安を感じる事が多くありました。そんな時に一時預かりや、子供とホテルに泊まるクーポン等があったり、助産師さんなど相談員さんが来てくれて相談に乗ってくれたり、少し子育ての手伝いをしてくれるシステムがあればいいなと思いました。子育てと仕事の両立は難しいと思いますが、復帰のタイミングの時期が1番ストレスが大きいです。その部分を解消してもらえたらずいぶんと助かると思います。また、私の会社は、2人目を産みたいと思っても会社を辞めなければ難しい状態です。女性の上司からもそう言われています。現状中々辞められないですが、長期的に1人の担当に相談できるシステムがあればいいなと思います。また2人目を産む際、収入面からも不安があります。1人目の時は正社員だったので育児給付金は余裕があったが、パートタイムになると給付金も減るので収入面からも考えられません。そこの2人目の収入面のサポートも手厚くしてもらうことが必須だと思います。芦屋市は自然や公園が多く、芦屋市外の友人を招くと驚かれて羨ましがられます。今後も芦屋市に住んでいたいので、子育て世代へのサポートの方よろしくお願い申し上げます。【1～2歳】 ・仕事を辞めなければこのまま育児をしていくのは困難と考えている。改善点としては病児保育が充実すること。南芦屋浜地区の子どもが通いやすい小学校ができる、または潮見小までのスクールバスができること。小学生の朝の預かり制度があるとなお、ありがたい。学童保育の充実。転居前は同じ年収で月々6万円の保育料だったため、現在芦屋市は9万円弱で、これから第二子も生まれるため経済的にとてもきつい。現在のPTAの活動を、シルバー人材センターやボランティア、外注にしてほしい(スクールバス運転手の確保なども含めて人を雇う補助金を出して欲しい)。良い点としては、ファミリーサポート制度がある。公園が充実している。【3～5歳】 ・子育てというより、子育てしながらでも仕事をしやすい施策が必要だと思えます。時短勤務をしていて退職時に気まずい思いをしたり、残ったメンバーに負担をかけることがツライです。時短勤務をする社員がいる企業やその同僚に、人員や給与などの追加付与をするなどが一番良い。子育て支援をいくら充実させても周囲(特に職場)の理解がないと難しい。【3～5歳】

	<ul style="list-style-type: none"> ・親が子育てを苦しむのびのびと子育てができるようになればいいと思います。共働き家庭としては、病児保育の手続きをもっと電子化してほしいです。毎回紙を書くのは大変です。また利用料ももう少し抑えて頂けると負担なく助かります。せっかく高島市長になったので、グローバル目線で子育ての施策を考えて頂けると嬉しいです。【1～2歳】 ・出産後1ヶ月の保健師さんの訪問は、1人目のときは特に色々教えてもらったので良かったです。またカンガルークラブも同じような月齢のお子さんがある方と知り合えて良かったです。共働き家庭に対する支援(家事代行サービス、ベビーシッターサービスの割引等)があると嬉しいと思います。【0歳】 ・第三子出産を機にパートを退職し、再び働こうと思い面接を受けたくても一時保育に空きがなく祖母に来てもらいました。また仮に採用となってもすぐには預けられず、その間の期間だけは一時保育も。と考えましたが9時～しかなく9時～始業だったので厳しいと思いました。他にも、歯医者や自分の病院に行くのに預けられるところが南芦屋には、なかなかありません。なのでずっと身体に違和感を感じながら生活しています。子育ては楽しく子供と居られることに大変幸せを感じていますが、やはり自分の時間や何かチャレンジしたい!と思った時にすぐに預けられる場がほしいです。これでは、働こうと思っても働くことは厳しいと思いました。どうかよろしくお願いします。【3～5歳】
産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・来年4月から下の子を預けて仕事をしようとしたが、保育園、こども園の定員がいっぱいで入れず幼稚園に入ることになった。最近では母親も働く人が多いため保育園、こども園を充実させて欲しい。子供の医療費が高い。収入が高いという理由で補助が受けられない。税金を支払っているのに補償されないのが不満に思ってしまう。他の市では子供は収入に関わらず一律だったりするのがすごく羨ましく思う。【3～5歳】
その他	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと利用者の声に耳を傾けてほしい。困ったときに相談しても、お役所仕事という感じで、親身になって対応してもらえなかった。あと、このアンケートは途中で一時保存できるようにしてもらいたい。入力内容が細かすぎて時間がかかりすぎたので。【0歳】 ・少子高齢化の縮図のような市。全国に名のおふる芦屋市が、明石のような政策をし、子どもへの手厚さをみせることで、人口は増える。また使われていない公園はPFI?などで指定管理を結び市の魅力の一つとして発信。ポータルを誘致し、大阪に出る必要をなくせば、市民のQOLはあがる。また市民があそびを通じたまちづくりを行えるといい。洛西口のガタゴトのようなハブ的な役割の場を民間と行うと活性化すると思う。【0歳】

項目	主な意見
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートについて設問が難しく、回答の入力に悩みました。と申しますのも、対象の子は現在、年長児であり、長かった保育園生活もほぼ終了であるため、今後の保育事業の利用希望についての設問は、実績を入力せざるを得ませんでした。また、勤務に関する設問も、平日5日間通勤1日8時間フルタイム勤務の被用者を想定しているのか、在宅勤務混在の勤務や、すべて在宅勤務の方にも答えにくかったと思います。私自身、コロナ禍以降は在宅勤務が増えましたが、在籍する公立幼稚園や認可外保育施設では、コロナ禍以降在宅勤務が増えた人、もともとすべて在宅勤務だった人、不規則な就労がある人、自営・事業主・士業などで労働時間について裁量はあるもの多忙な時期がある人など、多様な働き方をしている人が結構いらっしゃるように思います。このアンケートのみならず、多様な働き方に対応できるような保育を希望します。公立幼稚園について公立幼稚園に通い、芦屋市の公立幼稚園どの園も教育の質が非常に高いと感じました。(地域の人もかかわった豊かな経験ができる。主体性が育まれる良くてできたカリキュラム。人事ローテーションが適切なのか、どの先生も熱心。未就園児に対する地域の子育て支援施設として十分な機能を果たしている。)しかし、少子化も手伝って、園児が減少しています。もっと公立幼稚園の良さを知ってもらい、有効活用されればよいと思います。急に転勤が決まって芦屋市に転入されるご家庭、不規則に就労されているご家庭、海外に住む人の一時帰国の際の利用、支援の必要なお子さんなど、認可保育園に預けにくいご家庭のセーフティーネットの側面もありますので、認定こども園等へ移行すると困る人が増えると思います。 ・今後必要とされる人材が育つ教育改革を期待しています。新聞記事で知った教育委員の件は残念に思いました。芦屋市民でない現市長の当選こそが、外部の優秀な人材を望み、芦屋をより良く変えてほしいという民意の現れだと思います。【3～5歳】 ・自らもっと芦屋市の情報をとって、考えていきたいと思います。【3～5歳】 ・市長が代わり、教育に力を入れてくださると期待しています。東京などとも比べても芦屋は子育てしやすいとは言えないと感じています。私立への進学補助など、公立に限らなくても良いと感じます。企業の就職でも、地域に由来のある人、という基準ではしないですし、より良い人材を確保して、変革をしていただいただけに期待しています。【3～5歳】 ・小学校が自宅から徒歩40分なので涼風町近くに小学校建設してほしいです。【3～5歳】 ・学校での学習時間、内容の向上を希望します、塾に行くのが当たり前となる程公立の学習内容が乏しいと聞きます。まだ、直面していないため、詳しい話はできませんが、公立小学校の先生の負担が大きく、メンタル不全となる先生が多く、長女1年生の担任も結局半年以上不在でした。1年生の先生は親同然に子供が頼りにする存在。あってはならないと思っています。しかし、先生の負担は親の私から見ても、大きいと感じます。教員免許有無関わらず、たとえば元先生の方にアルバイトとして補助に入っていていただく、先生を志す学生さんを担任補助として雇う。芦屋市はその程度の負担はできると考えております。【3～5歳】 ・公立の小学校に通う予定です。小学校の登校下校時の荷物がタブレットなどがある為、とても重たいそうです。少しでも、教室に置いて帰れるように指導を工夫してほしい。日本にはプールの授業がありますが、未だに伝統的に続けられています。本来の目的を考え、時代に合わせ、もう、なくしても、せめて選択制にしてもいいと思います。夏の暑さも、昔と比べ、気温が上がっています。9月でも暑い日もあるので、体育で運動場に出るのも、どうかと思います。時代、気候の変化にあった、カリキュラムに変えてはどうでしょうか？公立でも、積

項目	主な意見
	<p>極的に先生の人数を増やしてほしいです。公務員だけでなく、民間人も子供の面倒が見れるよう採用してほしいです。教育の質をあげるのは、ただ先生の人数を増やせばいいだけなのに、未だに増えないのは、何故なのか疑問です。どうぞ、ご検討宜しくお願いします。【3～5歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西宮市で小学校教員をしています。全国的にも言えますが、子どもに関わる教職員が不足しています。子育てや教育へのニーズや要望がどんどん高くなる一方で、教員やスタッフ（特別支援の支援員やサポートスタッフ、事務をふくめ）の欠員が埋まらず、施設面でも予算がどんどん削られ、子どもに関わる人的物理的資源が乏しい現状が続いています。不登校支援など、新たな課題も大きくなってきています。芦屋市でも子どもに関わる人的物理的資源の拡充を説に願います。【1～2歳】

2 小学生保護者

分類回答	件数
(1) 家庭における子育てへの支援	
① 多様な子育て支援サービス環境の整備	48
② 子育て家庭への経済的支援	188
③ ひとり親家庭の自立支援	6
④ 親と子の健康づくりの推進	4
⑤ 子育ての悩みや不安への支援	9
(2) 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
① 就学前教育・保育の体制確保	15
② 小学校への円滑な接続	7
(3) すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
① 地域における子どもの居場所づくりの推進	81
② 安全・安心なまちづくりの推進	28
③ 児童虐待防止対策の推進	1
④ 配慮が必要な子どもとその保護者への支援	45
(4) 仕事と子育ての両立の推進	
① 仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	24
② 産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	0
(5) その他	166

※頂いた意見は原文のまま使用しております。

※【 】内はお子さんの学年です。

項目	主な意見
基本目標1 家庭における子育てへの支援	
多様な子育て支援サービス環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・他市に比べ、子育てセンターやなかよしひろばなど、家庭外で遊ばせながら話を聞いてもらえ落ち着く場所が多いことは有難かった。コミスクで安価にスポーツなど体験できる。体育協会のスポーツ事業でさまざまな体験ができる。キッズスクエアと学童保育の併用でいろんなお友達と過ごせる。図書館の分室が多く、返却ポストもあるので利用しやすい(ない地域にはもう少し増やしてほしい。)改善してほしいこと。産後ケアサポートが少ない。子育てセンターは遠くて不便。開館がお昼寝時間が多く、間に合わないことが何度もあった。わくわく冒険ひろばは存在を知らなかった。学童保育の部屋が狭く密になりがち。【小学生低学年】 ・子供が小さい時は保健センターの室内遊びを利用できたことが有り難かったです。公園が充実しているので外遊びが活発にできています。学童の待機ゼロ施策は非常に有難いです。ただ保育園が7時からなのに学童が8時から、というところで1年生の壁を体験しました。給食がない時に学童にお弁当を毎日持たせるのが非常に負担です。お弁当宅配など何かしら利用できるようにしてほしい、というのは学童保護者大半の希望と思います。【小学生低学年】 ・産後に保健師さんが自宅にきてくださるのは、とてもありがたかった。特に第一子の時は不安で孤独だったので。エリア毎に集える場所があると(公民館利用)ご近所の赤ちゃんを産んだお母さんたちと知り合えていいと思います。そのエリアのファミサポさんやエリア担当の保健婦さんもついていてくれると、相談しやすいし、知り合えてより安心してファミサポが利用できると思います。【小学生低学年】 ・芦屋市に希望すること。乳幼児期は、ゆっくり子供に向き合える時間と場所の支援。【小学生高学年】
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちと自治体の将来を見据え、子供達へのキャリア教育(進学ありきではなく、いつでも性別に関わらず仕事に就くことの社会的意義を教える場)を積極的に進めてはどうか。将来的に芦屋市での勤労者、税収のアップにもつながると考える。一方で、キャリア教育をせっかく推し進めても、一定収入以上の世帯が子育て制度において対象外となっていたり、低減措置をとられている現状では、芦屋に住む親世代が「働き損」「働かない方がお得」と考え、子供達へのキャリア阻害に繋がりがかねない。そのため、世帯年収や個人収入による子育て制度の不整合は早期に撤廃いただきたい。【小学生低学年】 ・給食費の無償化。高校授業料の無償化。習い事助成。【小学生低学年】 ・うちは小学生と中学生だが、子どもの教育費がかなりかさむ。部活もすればなおさら。特に部活は、道具、服装、移動費などこれだけ個人に負担がかかるのは、家庭によってはやりたい事もできないのではと思ってしまう。【小学生低学年】 ・高校まで、医療費の無料化。私立学校通う人にも教育費の補助金制度。子供の数、習い事など子育てに費用がかかります。私立への学力があるのに、兄弟どちらかが受験をさせてあげれないと諦めるご家族もいると思います。増税課税もあり、子供の教育費のために旅行など諦めています。所得に関係なく助成してほしい。【小学生高学年】 ・医療費がかかる。東京が高校の授業料の無償化がはじまるので足並みを早々に合わせてほしい。共働きや所得制限があっても子育てに関する施策は公平にしてほしい。【小学生高学年】 ・所得制限があるため、毎月高額な医療費を払っています。近隣では撤廃が進んでいるなか、全体的にいろんな事が遅く、不満がたくさんあります。議題にあげるだけでなく早く実現してほしいと強く思います。

項目	主な意見
	<p>す。【小学生高学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市は高所得世帯が多いため、自助努力で子育てをするという方針に見えます。これからの市税増加を考えると特に高所得子育て世帯の転入を増やす施策をすべきです。そのために、他市ではしていない高所得世帯が芦屋市で子育てしたいと思える施策をしてください。高所得世帯は、時間的にフルパワーで頑張ってる人が多いと思います。【小学生低学年】
ひとり親家庭の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市はひとり親家庭で育てるには暮らし辛い町です。相談に行った時も明石市への引越しを勧められました。市に期待する事は給食費の無料化。子供達は将来、芦屋を出ていくようなので何も期待しないし望まない。【小学生低学年】 ・ひとり親ではあるが、世帯収入の上限を超えているため、住民税等を収めているにも関わらず支援金など貰えていない、特段支援の必要性を問われたこともありません。ですので、国及び芦屋市の施策には特に期待することはありません。【小学生低学年】 ・ひとり親家庭への貸付。「話だけ聞きますが財源がありません」と断られた。ひとり親への就労支援。子供を放置するだけの就労案、病気があっても2、3つ仕事をするように生活援護課でアドバイスされたが、それでは持続不可でヤングケアラーの問題や子供の権利はどうなるのか。子ども家庭総合支援室で相談したが、話すだけで何も解決しない。自分が虐待してしまいそうで頼りたかったが、西宮家庭センターに連絡すると「会えなくなりますよ」と思いとどまらせられた。ショートステイも利用者がいっぱい、など断られるばかり。子どもが生きてて良かったと思いますが、いつまた自分に限界がくるか不安で仕方ない。頼れる場所がない。改善して欲しい。山の子会の学習室 子が騒いだため利用者の中で一番年齢が低いうちの子が誰もいないところでボランティアの高齢者に殴られた。安心して預けれる場がない。持病があるひとり親は肩身が狭い。社会的弱者になったことは承知していますが、家事子育てが限界の中、無理に就労を追い立てないで欲しい。頼れるところが見つからないまま、追い詰められるだけです。【小学生高学年】
親と子の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・今、近眼の子供が激増しております。芦屋市は、他市に比して学校の眼科検診が少ないと聞きます。現状年一回かと思いますが、例えば西宮市のように学期ごとに検診を設定しては如何でしょうか。我が子もそうなのですが、近眼は短期間のうちに急激に進行してしまうそうです。切に願っております。高島市長、応援しております！どうぞ芦屋市のこれからについて、お力を発揮して下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。【小学生高学年】 ・芦屋は治安が良いとは言いながら、子供たちだけで遊ばせるには心配があります。公園遊びが好きな子供ばかりではないですから、週に一度くらい、大人引率のウォーキングなどがあれば良いなあと思うことがあります。【不明】
子育ての悩みや不安への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みに対しての相談窓口一覧を広報で出して欲しい。簡単でいいので、ひきこもり、いじめ、DVはこの番号は電話して欲しい等。個人的にはタウンページ的なものが嬉しい。悩みが多い人が助け合える芦屋であって欲しい。『こどもまんなか』よりも、大人達が『こどもをまもる』『こどもを成長させる』ことがなにより大事だと思う。子どもが未来を見据えることができる芦屋であって欲しい。知識も大事ですが、それよりも生きて行くための知恵を身につけて欲しい。たくさんの経験をさせて欲しいと思います。高島市長には、英語はなにより喋ることが大事なので、保育園から英語のディスカッションができる授業を頻繁にして欲しい。子どもたちも抵抗感もなくなると思います。私自身は生活は苦しいですが、子どもの笑顔があり毎日充実しています。ありがたい事に、私の周りは皆、私や子どものことを成長させてくれる存在なので、芦屋は最高の街だと思っています。最後に障がい者にも是非目を向けて欲しい。ぜひ、障がい者でもできることがあるので、

項目	主な意見
	<p>あしふく等の行事に参加させて欲しいと思います。よろしくお願いします。【小学生低学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR を挟んで北に、子供に対する相談窓口や文化施設作ってもらえませんか？相談したい時は困っている時、困っている時は、距離が遠いとしんどいです！自身の経験から車のないうちでは、身なりを整えてバスで向かうパワーはありませんでした。是非北側に気軽に相談できるような場所作りをお願いします。【小学生低学年】 ・子育て相談に申し込んだ時、相談内容にある項目でしたが、あまり有益な相談ができませんでした。相談窓口がいくつかありましたが、どこが適しているの分かりにくかったです。カウンセラーさんの専門分野や資格や性格などが分かった上で申し込めたらと思いました。【小学生高学年】 ・小学校、中学校での困りごとを言えるような匿名の窓口みたいなものが欲しいです。ネットでもいいし、なんでも良いので。【小学生高学年】
基本目標2 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
就学前教育・保育の体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市は他の市と比べて、フルタイムの共働き世帯は少ないと思います。もう既に子供も就学してしまいましたが、公立幼稚園の2年→3年への実施をもっと積極的に行なって欲しかったです。公立幼稚園だからこそできる、幼稚園で過ごす親子やお友達との時間は、こども園では難しい内容だと思います。こども園ばかり新築拡充するのではなく、今ある施設でサービスを増やす方が効率的だったのではと思います。小学校では、担任の先生を選ぶ事はできませんが、高学年は科目毎で先生がついてます。これを、もっと低学年から進めてもいいのでは…と思います。2年生頃からの学級崩壊を、クラスだけではなく、学年や学校全体でカバーできる良い機会だと思います。【小学生低学年】 ・芦屋市は集会所や公園など公共の施設は数綺麗で素晴らしいと思います。しかし、こどもが未就学の時は0歳から毎年申し込んだにも関わらず、認可保育園には入れませんでした。一時保育も気軽には使えず、預かり時間が短いため利用できませんでした。市の病児保育は年に数回利用していて満足度は高いですが、定員がいっぱいで利用できないことがあり、困ります。【小学生低学年】 ・過去に保健センターを利用した事があるが、たらいまわしや、人により対応が良くないことがあったこども園一期生だったが、当時園長は預かりなど、対応が柔軟でなく、不満に思うことが多かった。今は定年退職されているが、現在は改善されている事を望む。幼稚園がこども園に集結されたが、やはり保育園色が強く、満足いかない一年だった。幼稚園が減る事は残念で、幼稚園、保育園を合併させる事は無理があると思った。【不明】
基本目標3 すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
地域における子どもの居場所づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生になると、公園で鬼ごっこをする年齢では無くなり、放課後や休みの日に友達と集まれるところが無いようで、神戸や西宮のゲームセンターやカラオケ、あるいはUSJに出かけています。中高生が気兼ねなく集まれて楽しく過ごせる場所は、必要だと感じます。【小学生低学年】 ・ボール遊びができる公園整備もお願いしたい。岩園地区には広い公園がない。集会所にも自習室がほしいと高校生の長男が言っています。【小学生低学年】 ・子供の居場所が少ない中、キッズスクエアはとても助かっています。【小学生低学年】 ・私はもともと神戸で育ちました。神戸は学童も自由に行き来でき、遊び場も多く子どもの居場所が沢山ありましたが芦屋に来てとても少なく感じました。土地的なものも関係すると思いますが、寂しいなど

項目	主な意見
	<p>思っていました。子どもが未就学の際は神戸まで遊びに行っていました。しあわせの村、遊具が沢山ある公園、見晴らしのいい公園等。神戸に遊びに行くのは近いのでいいですが、車が無ければ難しいと思います。【小学生高学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市の小学校に比べて、1年生がキッズスクエアに参加できるのが遅い。長期休暇前後の給食の終わり始まりが遅い。母親は専業主婦か時短勤務やパートの前提で組まれてる気がする。フルタイム、母子家庭にはスケジュール的に困難に感じた事が多かった。【小学生高学年】 ・我家は子供が小学生になってから、他市から引越してきたので、乳幼児の子育てセンター等は全く利用したことがないのでわかりませんが、キッズスクエアについては、低学年が友達と放課後安全に遊べるのでとても良い取り組みだと思いました。ただ、芦屋の小学校は昔からこうだからと、ルール変更には柔軟ではないな、と感じます。(冬でも体操服は半ズボン、スパッツ不可等)【小学生低学年】
安全・安心なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て施策ではないですが、子供が安心して暮らせる安全な街になって欲しいです。特に子供の通学路には危険な箇所がたくさんあり、通学路そのものを見直して欲しい。ライト坂、開森橋の交差点の西側。信号が複雑で車が速度を緩めず直進して来ることが多数ある。タイムズ芦屋川駅前第三付近。横断歩道が無い。サンモール。狭い上に交通量が多い。【小学生低学年】 ・町内に子どもが少ないため、集団登校の人数も先細り傾向にあります。通学路は事故が多いライト坂から芦有に向かう道路になっており、一部歩道のない箇所や歩道の狭い箇所があり、車道を歩かなくてはならないことが危険でとても心配です。公園は雑草が生い茂って遊べない期間も長いです。不審者情報も度々報告されており、防犯対策(街灯や防犯看板の拡充など)にも力を入れてほしいです。【小学生低学年】 ・放課後、学校の空き教室で自習や習い事があれば、習い事の行き帰りの心配もなく、前後の時間で宿題をしたり、お友達と遊んだり出来る。ピアノ教室に行ってるが、騒音や置き場所の問題で小さな電子ピアノしか自宅に置けない。小学校で自由に練習出来たり、絵の具を使って絵画教室とかあればありがたい。【小学生高学年】 ・給食、楽しみに登校。親御さんが真面目な人が多くて安心、子どもも落ち着いて安心。転勤してきたけど、私立幼稚園、とてもよかった。学校も落ちついて、よかった。公立やのに子供の好奇心を応援してくれる感じが(小中学校とも)すごいと思う。今は行ってないけど、保健センターもお世話になってありがとう。【小学生高学年】
配慮が必要な子どもとその保護者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児検診で、こどもが、保健師さんから「あなたは、女の子、男の子？」という質問を2度もされました。1度目に黙ってしまって答えられなかったのが理由だと推察しましたが、他の質問には答えられた3歳児が黙ってしまったのですから、さらに質問するのか、配慮は必要だったのではないかと感じます。担当された保健師さんのジェンダーに関する知識、認識に大いなる疑問を持ちました。親は、意識的に、性別を強調しない育てかたをしていたのに、芦屋市ではそれが叶わないのかな、と悲しく感じた出来事でした。その後も、公立幼稚園でも、先生にジェンダーバイアスを感じる出来事が複数回ありました。(怪我をしたら、「顔じゃなくてよかった、女の子だから」と言われたり。)【小学生低学年】 ・インクルーシブ教育に限界を感じます。長男は発達障害で超マイペース。クラスに合わせられず、みんなから責められて不登校気味です。次男は優等生タイプでなんでも器用にこなし、友達も多く人気があるようです。が、マイペースでクラスについて来られない子へのイライラがあるようで、優しく注意をしても無視されたり反発されたりが辛くなり、長男の影響もあってこちらも不登校気味です。(両者とも学校の先生には相談していてよく対処していただいています。が、制度の限

項目	主な意見
	<p>界を感じます) 高島市長が医療費助成と教育改革を掲げていらっしゃることに非常に希望を感じています!!!もう少し我慢しますので、頑張ってください!!! (教育改革は否決されたとニュースで読みましたが)【小学生低学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや不登校の対策として、学校の先生が主体となるのではなく、第三者的な存在(出来たら民間)の役割の人がいてくれたらいいと思います。保護者と先生の間に入り、中立の立場で話し合いや相談ができるといいと思う。そうすれば、先生の負担が減るだけでなく、先生と保護者との関係も悪くならずお互いに協力して物事を進められると思います。【小学生高学年】 ・不登校の子供にも教育を。各担任に対応がまかされている印象であるが担任の先生はやはり日常の仕事で手一杯である印象。一律な対応がむずかしいとはおもうが結局教育については各家庭に放任されている。また適応教室設置されているが、不登校のこどものうち実際適応教室につながれるこどもは少ないとおもう。そもそも不登校の子供は決められた場所に行くことにハードルがある。オンライン授業の拡大を希望するが、学校の担任への負担がふえない範囲で芦屋市全体で不登校の子供の教育を真剣にかんがえてほしい。【小学生高学年】
基本目標4 仕事と子育ての両立の推進	
仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・私(母親)がフルタイム正社員のため、木曜日・日曜日しか休みがありません。サービス業のため、GW・お盆・お正月も休みがほぼ無く、小学校に上がると子供と過ごせる時間が更に無くなり、子供と休みの日は食料品を買いに行くので精一杯で、まだ生まれてから一度も子供と旅行へ行ったことはありません。小学校は保育園の頃より、授業が遅れてしまうからという雰囲気の子供が平日休みにくく、もう少し家族休暇欠席という事で、年に数回でも良いので学校を欠席しても大丈夫な教育現場の雰囲気づくりをして頂けたら嬉しいです。【小学生低学年】 ・給食について警報発令時は給食を食べずに帰宅する場合があります。共働きで日中親が不在、近くに協力者がいないので、お昼ごはんを食べさせずに帰宅させるのは困ります。(他市は給食を食べてから帰るところもあるそうです)私は他市の医療機関でフルで働いているので警報が発令されたからと言って仕事を抜いたり休むことはできません。学童保育も警報が出ると使えない…諸般の事情があることは理解できますが、働く母親にとっては勤務形態の変更や退職、キャリアアップを諦めることを考えなければならないのが現実です。どうか子育てと女性のキャリアアップが現実可能になる芦屋市になってほしいです。よろしくお願い致します。【小学生高学年】 ・神戸市から長女が3年の時に引越してきました。市の学童保育にまず入れず、民間の高額な学童保育を探しました。キッズスクエアもありましたが、不定期で夏休みは、お昼は一旦帰るとい、子供の安全な場所ではありませんでした。病気になって休めない時は、神戸市の病児保育を利用しました。母親は働いていない前提での子育て支援と感じました。【小学生高学年】
その他	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・先日学童の芦屋集会を開催しました。市長さん、議員さん、育成課の方とお話ができて大変ありがたかった。みなさんに真剣に考えてくださっていたので期待しています。よろしくお願ひいたします。【小学生低学年】 ・市長が教育改革に着手されたいとのこと、大変期待しております。教育は世界を変える最強の武器です。そして、私達家族は芦屋が大好きです。未来を支える子どもたちのためにも、まずは芦屋市から変わればと思います。わずかな力ではありますが、お力になればと思っております。【小学生低学年】

項目	主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・また、文化レベルについて冷えていると感じます。プクの演奏家のアウトリーチなど受け入れたりと子ども子供を芸術に触れさせて欲しいです。神戸市振興財団に所属していますが、神戸市の小学校を回っています。芦屋市の子ども達にもそんな機会があるといいなとも思っています。未来に期待したいです。【小学生高学年】 ・市の案件ではないですが公立高校受験時の内申制度の見直し。(県の事ですみません、でもこれ本当におかしいと思う) いじめ対策。(対応が遅い、表面化させない対応の改善) 教育関係者の外部参入。(排他的な慣習の排除、教員等の負担減とレベル向上) 【小学生高学年】 ・習い事の送迎で阪神、阪急の駅前を利用することが多いが車を停める場所がなく送迎しにくく危険。潮芦屋地区に住んでいるが小学校が遠い。15年前に住む際には潮芦屋地区に小学校ができると聞いていた。小学校がないため新しい世代の参入がなく街が高齢化していつてしまう。【小学生高学年】 ・芦屋の給食、食育はとても充実していると思います。一方で、教職員の数が足りず、一年で三度も担任が変わるなど、子どもが安心して登校できる態勢が整っていないのが残念です。また、タブレットの活用も未だに十分ではありません。双方向の授業や学級閉鎖時のオンライン授業など全く試みられていないままです。大きな方向性としては、これからの時代にあった、グローバルな視点を持てる教育。公教育でも、最先端のカリキュラムや英語、プログラミングをどんどん採り入れて、個人の能力がいきる教育が実現されればいいなと思っています。【小学生高学年】 ・公立小学校に通っていますが、2年生で1クラス36人います。欠席して抜けた授業内容や、授業でわからなかったことや聞きそびれたことなどあっても、担任が1人で多忙の様子で消極的な我が子は質問するタイミングがなく放置しています。低学年の間は補助の先生を補充していただきたいです。結局、学校教育だけでは不安になり公文に入りました。【小学生低学年】 ・高島さんが市長になられた事で、色々なところで良い方向に変化が起きて来ていると感じています。「最高の学びができる芦屋」という目標において、さいたま市の細田氏が参加して下さるのでは？と、とても大きな期待を持つことが出来ましたが、残念ながら反対派がいらっしまったようですね。細田氏の事は以前から興味があり、公立校での英語教育での実績など知りたい事だらけです。芦屋は小さい町です。その小さい町だからこそ良い意味で変化させるスピードは早くなるはず。つまらない理由で反対するのでは無く、本気で子供達の将来と向き合って下さる市議会であって欲しいと思います。子供が小学校に通っている間に大きな変化を期待します！【小学生高学年】 ・小学校からのIT教育が、世界的にかなり遅れていると思います。昨年、今年と、プログラミング教室からWRO(worldrobotOlympiad)の国内大会に参加をし、チームメイトが国際大会へと出場した関係で国際大会も観戦しましたが、諸外国は学校の教育プログラムの中にプログラミングやロボティクスが取り入れられており、日本との大きな格差と危機感を感じました。是非芦屋市でなにか先進的な取り組みを始めたいと思います。【小学生高学年】

3 小学生本人

分類回答	件数
(1) 家庭における子育てへの支援	
①多様な子育て支援サービス環境の整備	0
②子育て家庭への経済的支援	2
③ひとり親家庭の自立支援	0
④親と子の健康づくりの推進	0
⑤子育ての悩みや不安への支援	0
(2) 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
①就学前教育・保育の体制確保	0
②小学校への円滑な接続	0
(3) すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
①地域における子どもの居場所づくりの推進	0
②安全・安心なまちづくりの推進	3
③児童虐待防止対策の推進	5
④配慮が必要な子どもとその保護者への支援	0
(4) 仕事と子育ての両立の推進	
①仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	0
②産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	0
(5) その他	18

※頂いた意見は原文のまま使用しております。

項目	主な意見
基本目標1 家庭における子育てへの支援	
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの医療費は全員無料にしてほしいです。 ・よくテレビとかで『所得制限撤廃』とか言ってるけどそれって本当なんですか？親の収入で子供が差別されるのっておかしくないですか？未来の日本を創る子供のために所得制限撤廃が大切じゃないんですか？人はみんな平等に扱わないといけなと思います。だからこの意見を聞いて今後の政治に役立ててください。
基本目標3 すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
安全・安心なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の美化や、異臭を消すこと。 ・これからもいごちが良い芦屋にしてほしい。 ・打出駅の近くの喫煙所に扉をつけて欲しいです。理由は、受動喫煙が怖いからです。
児童虐待防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・虐めや差別は絶対に起きてはならないことだと思う自分もいじめられた時まだ反抗できたから良かったけど反抗できない人もクラスにはいるしいじめは本当に良くないことだと思う。 ・いじめはダメ。 ・いじめの内容は、低学年の時にクラスの男子や女子3～4人に避けられていました。 ・僕は怒鳴られること。理不尽なことで怒られることが無理です。先生がみんなを怒ると自分が怒られた気持ちになる。2年生でいじめ(性的)受けたのに先生が遊びだったと言われてショックで学校に行けなくなった。いつも怒っている先生。今も退職して学校にいるけど全然変わらない高学年が意見を言っても受け入れない自分の言うことをきけばいいと子供の意見をきかない変わらない。 ・先生からの言葉が辛い。
その他	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・限られたルールの中で好きなことをすること。 ・このようなアンケートはこれまであまりなかったから、とてもいい機会になったと思った。自分も、社会や政治につながっているような気になった。 ・このアンケートはめんどくさいけど実際これをするによって、この世をもっとよく変えることができているのかなと思います。 ・自分のことは自分で決めたいと思う。 ・小学校に通っていますが、先生はなぜ車通勤をするのですか。他の会社員は車通勤は禁止されていることが多いです。それは危ない、事故に巻き込まれるからです。電車やバスの公共交通機関をつかえば、お金が循環すると思います。昔はテストを自宅に持ち帰るため荷物が多く大変だったとききましたが、今は個人情報もちだしはしてはいけないと思うので、車はやめてほしい。なぜなら、遊ぶ場所が狭くなるのと、車を停めているところは屋根があって雨の日でも外で遊ぶことができるから、そこを空けてほしい。ボールを当ててはいけないとか気をつけなければいけないし、車通勤は事故にもあいやすいので危ないと思います。僕たちは歩いて坂道を登っていますが、先生は大変だったらバスを利用したらいいと思います。あとしんどくなった子を親が迎えに来る時、車を止める場所がありません。そういう時のため、救急車、消防車など緊急のときのためにも駐車場は何台も空けておいた

項目	主な意見
	<p>ほうがいいも思います。学校で救急車や消防車が必要な時は一度に何十台も必要な時があるかもしれない。やっぱり先生は大変になるけれど、車通勤はやめるべきだと思う。先生だけが得をして他が迷惑している、大きなことが起こった時にも大変な事になると思います。体操服は、学校別に分かる必要はないと思います。僕の幼稚園のお友達も他の小学校へ行っていて、小さくなったものをあげたりできない。1年ごとにサイズが変わっているのを買っている。買う時も試着ができないから失敗することがある。学校マークはアイロンをすると解けるのでなぜこれをわざわざ手間をかけてつけて値を上げる必要があるのか、運動ができれば指定ではなく市販の体操服でもいいのではないかと、柔軟ではない、市販体操服は安くていいものがたくさん売っている、ただ学校マークがついていないだけだから、使用したいと母はよく言っています。学校で使っている防災頭巾は座布団にすると斜めになっているので真っ直ぐになるように作ってほしいです。体がゆがまないか心配です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今はないけれどもし変な校則があったら上から押し付けないで子供の意見を聞いて直して欲しい。学校で自由時間を増やしてほしい。 ・みんなが授業に集中できるようにしてほしいです。 ・将来ピアニストになりたいと思い日々練習を頑張っています。世界的に有名な演奏家の先生方に教えて頂いたり、素晴らしい演奏をお聞きできる機会が増えたらうれしいです。 ・涼風だけのスクールバスが欲しいです。もしくはタブレットが重いので嫌です。

4 中学生保護者

分類回答	件数
(1) 家庭における子育てへの支援	
① 多様な子育て支援サービス環境の整備	15
② 子育て家庭への経済的支援	81
③ ひとり親家庭の自立支援	4
④ 親と子の健康づくりの推進	5
⑤ 子育ての悩みや不安への支援	6
(2) 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
① 就学前教育・保育の体制確保	6
② 小学校への円滑な接続	0
(3) すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
① 地域における子どもの居場所づくりの推進	26
② 安全・安心なまちづくりの推進	12
③ 児童虐待防止対策の推進	0
④ 配慮が必要な子どもとその保護者への支援	25
(4) 仕事と子育ての両立の推進	
① 仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	5
② 産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	0
(5) その他	75

※頂いた意見は原文のまま使用しております。

項目	主な意見
基本目標1 家庭における子育てへの支援	
多様な子育て支援サービス環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・息子が小さい時、東京に住んでいたのですが、地元ではなくて、頼る人がいませんでした。児童館が近くにあって、有料ですが、家庭の都合、自己都合にかかわらず、いつでも預かってくれていました。ちょっとした時に預けてリフレッシュしていました。児童館が充実していて、親子で参加する機会も沢山ありました。子供が大きくなって、色々利用しなくなったので、一概には言えませんが、ちょっと子育て支援に手薄な感じはしました。色々な地域に住んできたのですが、芦屋市は1番そういったものが、手薄だと感じます。 ・様々な面で民間施設などを利用されてる方が多いと感じます。誰もが行きやすくオープンな施設があればいいと思います。あと、南芦屋浜はバスの本数が少なく自家用車で動かざるを得ない生活です。浜が孤立してるので、施設を利用するにも、もっと駅前に足を運びやすい環境を整えて欲しいです。 ・子供の就学後や、高学年になるにつれ利用できるサポートが一気になくなる。特に小学を卒業するとファミリーサポートも利用できなくなり、分断を感じる。保育だけが必要なサポートではないので、もっと柔軟なサービス（サポート）があれば、家庭が孤独でなくなると感じる。
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのび学級はとても素晴らしいと思います。18歳まで子ども医療費の無償化、所得制限の撤廃を希望します。 ・高校や大学の費用、世帯収入に関係なく、補助が出ると良いとおもいます。塾の費用も多額にかかりますので、補助が出るといいです。学校の勉強だけで、受験に対応できるなら、それが1番ですが、現状は塾に通わなければ無理です。高校受験時の、内申点制度はこれでいいんでしょうか？内申点のために中学生は自由にできていないと思います。 ・子どもにお金がかかるようになるのは高校生からです。お金持ち育ちの政治家の方たちはわかっていない。3人子どもがいる家庭とひとりの子どもがいる家庭ではお金のかかり方はぜんぜん違うのに助成がない。一時的に給付金があっても気休めでしかない。子ども全員大学に行かせるために親も自由になるお金も時間もない。習い事も庶民の子どもと富裕層の子どもとの格差が大きすぎる。才能がある子どもが親の収入の格差で伸びることができない。 ・大阪府や東京都のように高校無償化してほしいです。我が家は大阪府の私学高校に通っていますが、同じ教育を受けているのに住む地域で金額が変わるのは嫌です。子育てとは関係なかったらすみませんが、高校入試の第二希望制はやめてほしいです。本当に希望する高校に行きにくいと思います。 ・子供にかかる教育費が高騰しているにも関わらず、給料が増えないため子供を出産しようと思う人が少なくなっている。それに対して対策をとっているとしても効果が全く現れていない。子供にかかる費用全てを無料にすぐにするべきである。高齢者の医療費負担を増やした分を財源に当てる。
ひとり親家庭の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりおやで相手が監護を拒否している場合、養育費もしはらわない場合手当を一人目として預かってるあいだ支給してほしい。借りて生活をつないだりしても限度がある預かってるほうの体が病気や生活が破綻してからでは遅い。 ・ひとり親に対する経済的なサポートがない。高校無償化など、他の自治体と同じレベルの教育費用のサポートが欲しい。 ・他の地域に比べて、片親の子供に対する経済的支援や、医療保険料な

項目	主な意見
	どの支援が低すぎると思います。
親と子の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・うちはもう中学生なのでそんなに手がかからず行政のお世話になりたいと思うこともありませんがやはり小さい間は子育てがしんどいと思ったことがあるので親子で参加できる、親がほっと一息つける場がたくさんあれば助かると思う。 ・市民センターの部屋を安くお借りできたので幼児期に同世代の親子を集めて、先生を探してきてリトミックのサークルを作りました。口コミで広がりたくさんの親子が集まり過ぎて最終的に運営が大変でした。市の運営で子供の習い事が低価格でできるようになれば良いと思います。経験、知恵のある高齢者と子育て親子をつなぐ場がもっとたくさんあれば良いと思います。それらにみんなが気軽に参加できる仕組み作りや雰囲気作りが重要だと思います。 ・ひとり親家庭向けにイベントの案内など頂けて、親子で楽しめる時間を作って頂いたことが印象に残っております。本当に嬉しかったです。年に1度でもいいので、親子参加のイベントがあると人とのつながりも出来て精神面の支えが出来て良いと思います。 ・教育熱が高すぎると思います。特に小さいうちは自然に触れながらしっかり体を動かして元気に過ごす子どもたちが増えてほしいです。
子育ての悩みや不安への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・今は子供も中学生になり、助けて欲しいと思うことはほぼなくなったが、小さい時は保健師さんに電話や訪問で話を聞いてもらい、助けていただき、本当に助かりました。また、もう少し大きくなったときは保健センターのむくむくなどで、あそびせ、お友達も親子共々作れたり、相談に乗ってもらえるスタッフもいて、助けてもらいました。感謝しかありません。私にとっては助けを乞うハードルが低く、また、その際の対応が良くて、本当にありがたかったです。どうもありがとうございました。これからもよろしくお願いします。 ・子どもが小さい間は市の健診などで悩みを相談できる場があるが幼稚園に通う頃になると相談できる機会がなくなる。学校にカウンセラーの先生が来られるのでそこに相談することはできるが予約は学校の先生を通すことになり少しハードルが高く感じる。 ・幼稚園に行く前の、子育てサークルでは同じエリアでの友達が作りやすく、気の合う人と悩みを相談できた。高島市長が勧める教育施策を早急に実現して欲しい市議会議員に阻止されてほしくないです。まずはやってみないと変わりません。 ・マタニティから産後のママへのフォロー。体の事（骨盤矯正）や精神的（ママ子育て教室）なこと。ママが元気だと赤ちゃんや子供への接し方も笑顔で対応ができるから。まずはママへの育児のフォローをしてほしいです。 ・自分は聴覚に障がいがあるので、一般的に悩みも違うし、相談できる場がない。芦屋には自分と同じように聴覚に障がいを持ち子育てをしている人と出会える機会がないので、大阪まで行っていたため、地域で気軽に相談したりサポートできる関係の人が一人もいない。そういったマイノリティの人でも同じような立場の人と出会える場が欲しかった。

項目	主な意見
基本目標2 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
就学前教育・保育の体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ・東京 23 区内で、1 人目の出産から小学校入学頃まで子育てしました。実家もある芦屋市での子育てより、実家の遠い都内の子育ての方が、支援も教育も充実し不自由が少なかったように感じます。一例をあげると、芦屋市は、就園前児の一時預かりが市営保育園や幼稚園に併設されていない。23 区内区によっては、区立保育園に就園前児の一時預かりがあります。 ・要望公立幼稚園を 3 年保育。 ・公立幼稚園の存続を希望します。西山幼稚園の 3 年保育を実現させて頂きたいです。そして、生まれた時から利用出来る子育て支援の場として幼稚園を開放し、もっと身近に感じて貰って頂きたいです。色々なイベントでもっと存在をアピールして欲しいです。 ・乳幼児への子育ては充実していると思います。 ・子育て時期には、希望の保育園に入れず、無認可に通った後は姉妹で違う保育園を梯子したり、転園を繰り返されたり非常に苦労しました。今の方達にはそのような苦労して欲しくないと思います。
基本目標3 すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
地域における子どもの居場所づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの、いい意味でのたまり場のような場所が少ないように感じます。児童センターが 1 つ？なのは少ないかと…国が教育を軽視している中で、このように次の世代への施策を検討していただけるのは素晴らしいと感じます。子育て世代への施策充実化は、明石市のように若い世代の流入につながるかとも思います、市長に期待しています！ ・総合運動公園にタータントラックを作って欲しい。砂のトラックは練習がしづらい。尼崎まで行かないとタータントラックで練習が出来ないしなかなか予約が取れない。(陸上部に中学 3 年間所属した息子の思い) ・駅前子どもが気軽に集まれるような図書館があればいいとおもいます。勉強できるスペースもあればいいと思います。芦屋の子たちはスタバやマクド、ミスドなどたくさんありますが、そういう場所で集まるのではなく、やはりたくさん良い本に出会えるような綺麗な図書館があればいいと思います。駅に近い大原図書館は年配の方が座って本や新聞を読んでいる姿しかほぼ見たことがありません。 ・子供の個性をのびのび伸ばせる環境作り、そのサポート、支援。塾に通わなくても、誰もが質の良い学びの受けれる場所。中央公園の芝生が気軽に使えるのでサッカーしている我が子にはとてもありがたいです。 ・小学校のキッズスクエア放課後に学校で過ごせることがよかった(低学年のとき) ・小学校時の放課後や休み期間の預かりは有難かったです。
安全・安心なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に駐輪場を作ってほしい。駅周辺の開発のために多くの駐輪場が無くなり、開発が終わった今も数が戻っていない。駐輪場の新規契約が止められているため、毎朝電車通学する子どもを駅まで車で送っている。実際に生活している市民の不便を解消する施策も考慮してほしい。 ・子どもが幼い時から、道路が広くて、車道と歩道の間に垣根があるなど、歩行者(子どもや年配者)が安心して歩ける街なのが、毎日感謝です。登下校の見守りもしっかりされていて安心です。小学校中学校共に、先生方が子どもに優しく、汚い言葉遣いや差別した扱いをしない、

項目	主な意見
	<p>ハイクオリティな先生方が揃っているのも、芦屋市の素晴らしいところだと思っています。緑が多く、季節ごとに自然を楽しめるのも良いです。小中学校の給食も子どもに健康的でかつ人工的な味では無い手の込んだ多彩なメニューでした。素晴らしいです。海も山もあり、かと言って大都市ほど混雑しておらず、大変住み心地の良い街だと思っています。ただ近年、不審者の増加は子育てしていてとても怖かったです。その度に警察が犯人特定し解決するために動いてくださり、それも感謝しています。臨港線沿いに消防署が出来たので、子どもや主人が倒れた時には、救急車がすぐに駆けつけてくださり、近くに消防署がある安心感があります。消防士さん、救急隊の方々がとても親切で、それも本当に助かっています。芦屋市は、人がみなさん優しく、特に教育関係、警察や消防救急隊員、また公共施設の保健センターや図書館市役所病院で働くみなさんがとても親切で優しく笑顔で対応して下さいます。また、市長さんが積極的に子どもたちと交流を持ってくださり、子どもたちも喜んでます。いつも快適に暮らせるように考えてくださりありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 芦屋に住んで約2年半ですが、大人のマナーが悪いのが目立ちます。子供の前で平気に信号無視、道路横断、自転車の爆走、路上駐車など。大人が見本とならなければならない所が、まずできていない。生まれた時から芦屋に住んでる方が多いのでそれが普通になっているのだと感じています。危ないので子供達には自転車に乗らせていません。大人の意識を変えなければ何も変わらないと思います。
<p>配慮が必要な子どもとその保護者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校でのクラスの人数の少人数化。学校に関わる人の増員（地域のボランティア採用案）。不登校の子どもたちへの関わりを広げる（学校任せにしない）、居場所づくり（コミスク利用）。不登校、ヤングケアラー等、しんどい思いをしている子どもたちをサポートする専門チームを作る。ぜひ関わりたい。未来ある子どもたちを、1人もとり残すことのない、一人一人の目を見て丁寧に向き合える、子どもに優しい芦屋市にしたいです。 こどもの不登校にまつわる問題についてですが、おそらく芦屋市でも年々増加の傾向にあると思います。ちなみに我が家は、本人は学校に行きたいのに、体調面で不安を抱えてしまって行けなくなったケースです。提案したいのは、子どもの精神面をケアできる専門機関を増やすことと、同じようなケースの家族同士が話し合える場を作ることです。子どもの精神面をケアできる専門機関を増やすことについては、子どものための心療内科、カウンセリングが芦屋市内に少なく、学校のカウンセラーは子どもにとって敷居の高い学校にしかおらず、しかも予約制で1～2ヶ月に1回ほどしかとれません。子どもの心身の不調を相談できる機関が少なすぎます。そもそもどんな医療機関にかかればいいのかかわからず、皆さん手探りです。他の市町村の医療機関は、人気のところだと予約すらとれない状況です。あまりに現状にそぐわないと思います。同じようなケースの家族同士が話し合える場を作ることについてですが、子どもに登校にまつわる問題が起こった場合、そのほとんどが家庭任せになります。担任の先生にもよるとは思います。が、学校からのケアはほぼ期待できず、家庭は孤立したような状態になります。こういったケースでは、子どもは少なからず外出時に体調の不安をかかえているので、外出しづらく家にもこもりがちです。そこで支える側の家族のケアが十分でないと、子どもを十分に支えてやることができなくなります。情報も少なく、また自身も自分の時間を削って子どもと向き合うため親はかなり疲弊します。親自身も経験したことがないため先の見通しも立たず、不安です。ぜひ親同士の交流ができる場を設けていただきたいと思います。引きこもりやニートといった年齢層が上の若者だけではなく、中学生、高校生の保護者の会があるといいと思います。 前述しましたが、そもそも「やれる方にはやって頂くことにしています」という表面的な事象しか見えていない姿勢で障害児を育てる家庭を見ている時点で全く期待は出来ないと思っています。健全な低所得

項目	主な意見
	<p>者はハンデで、障害児を育てる家庭は、ハンデがないのでしょうか？所得制限を受ける収入を得るのは、何かを犠牲にして働いているからであって、与えられたものではありません。累進課税で、税金を多く払っているのに行政サービスを受けられなくなっていくというのは不平等です。障害児は約4%でそこに制限をかける必要があるのでしょうか？この何も期待出来ない仕組みが何か変わるのではないかと希望を持ち高島市長に投票しました。よろしくお願いします。</p>
基本目標4 仕事と子育ての両立の推進	
仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢出産のため、子供が学生でお金がまだかかる時に退職を迎える事、戦争や、疫病などの社会情勢の影響で仕事も生涯安定ではなく、将来的に不安。元気であれば高齢者でもフルタイムで働ける環境になってほしい。晩婚化によって、このように、経済的に子育てに不安を感じる家庭も多いのではないかと。 ・市立小学校の教育は充実していると感じていました。全校生徒数が隣接する市に比べそれほど多くなく、のんびりとした雰囲気でも一人一人を大切にする教育がされていたと思います。ただ、他市に比べ、フルタイムで働く方が少ないのでしょうか？フルタイムで働く身にとっては、保護者の学校行事等への関わり方において、肩身狭く感じることもありました。また、学童保育は運営時間、運営内容の面で利用しにくく、民間の施設を利用しました。経済的には大変でしたが致し方ありませんでした。中学校に進学してからは市の子育て支援について特に実感することがなくなりました。今回のこのアンケートがなければ芦屋市の子育て施策について考えることもなかったと思います。小学～中学と放課後子どもが一人で過ごす時間が長いのですが、芦屋市という地域柄、子どもが悪いことを覚える環境、危険な目に遭う環境が少ないことは助かっています。 ・収入や家族構成によって逆差別のない市政を望みます。両親がそろっていても、夫婦の両方が高収入でも、片親でも、生活保護受給者でも、等しく平等に保育園を利用できる芦屋市であって欲しいです。「芦屋市なら血のにじむ努力で築いたキャリアを捨てなくても良い」そんな日本で唯一の場所になって欲しいです。
その他	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・公立中学、小学校の教師の方々の研修をお願いしたい。良い先生もいるが、明らかにバランスを欠いている人がいます。直接、学校に相談するには、中学では高校受験の内申点の影響を考えて、容易には出来ず、結果子供に我慢をさせている。教師の待遇面を改善して、より良い人材が集まる事が子供達の健やかな成長に繋がると考えます。 ・中学生になり部活動の顧問の先生の言葉遣いがかっかりしています。パワハラとも受け止められる言動、行動、これが子供を教え導く教師がすることなのか、ましてや公立の中学校なので、芦屋市がこれを良しとしているのかと思うと非常に残念です。公立の学校の教員の質の向上を願います。もしくは、子が真似るべきでない教師には反面教師であると宣言していただきたいと思います。 ・高島市長を応援しています。教育委員に経験豊富な外部人材を登用する人事の件は非常に残念でした。反対した市議会議員、団体には以後投票することのないよう情報を得たいと思います。子育て中の市民は子供達の最高の学びを期待していますので。また、兵庫県の公立高校の入試制度は大変おかしいです。それによってなのか解りませんが、芦屋市立中学校の副教科の成績評価もおかしいです（実技無視、筆記重視、また時代にあっていない授業内容など偏った傾向にあります）。子供達に物事を深く考えさせ、自分の意見を持たせる教育になっていません。無意味な暗記ばかりです。学ぶ子供達も面白くないでしょう。不登校も増えて当然。好奇心をくすぐる授業、それぞれの得意ややる気をどんどん伸ばせる環境や教育をお願いします。残念ながら我が子には間に合いま

項目	主な意見
	<p>せんが。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な環境で生きる人々と、フラットな目線で理解し合える機会がほしい。芦屋市以外、国内外、たくさんの人と触れ合い、話をすることで、自分が今生きている世界は社会のほんの一部であることを知って欲しい。恵まれた環境にある人は、社会に目を向けるところから始めて欲しい。周りは「学習塾至上主義」が多く、学校の先生よりも塾の先生の言葉に家族全員が影響されている家庭が少なくない。受験のその先に何かがあるのか、社会で生きる素晴らしさと難しさを考える時間を、子どもたちにもっと提供してほしい。 ・なお、中学受験は兵庫県の内申制度のある公立高校受験に納得がいかなかったため受験しました。広島県のような受験制度に兵庫県も変えるべき時代だと思います。コロナ禍で芦屋市の教育長の対応は大変残念、不適任だと思いました。スピーディーな対応のできる革新的な適任者に交代すべきかと思っています。 ・良かった点。中学でもおいしくて栄養のある給食があり、本当に助かっています。成長期の子どもの健康に良いだけでなく、親の負担も大幅に軽減されました（上の子の時はお弁当作りで身体がしんどかったです）。そのために、芦屋市に在住して納税する意義がある！とすら感じています。改善してほしい点 1)学校での福祉的な課題発見と対応機能が弱すぎる点。スクールソーシャルワーカーのような、何か社会福祉の視点のある専門職が関われば、教員にとっても、親子にとってもメリットしかなく、様々な課題の予防になると思えばコストは充分ペイします。2)教育委員会についてニュースになっていた、いじめ事件の放置など大変気になっています。教育委員会を、より風通しの良い、透明性の高い組織にすることが、子どものため芦屋の教育（改革）のために必須だと考えます。若い世代、民間経験のある方、他自治体の知見のある方等が委員になることを望みます。 ・小学校は低学力層に合わせて学力が上の子は学校ではそれ以上伸ばせない。塾頼み。23 区内区によっては、小学校は低学年から算数の習熟度別クラスがあります。塾で勉強している子供も学校でも暇にならず学べます。 ・山手小学校の学童経験者だが民間に委託する前は非常によかった。 ・3人中2人はすでに芦屋外の学校に通ってます。芦屋内に行きたい学校がないからです。恐らく3番目もそうなると思います。芦屋の子どもたちが行きたい！安心してお任せできる高校、大学があればなと思います。若い方から見た芦屋は老人ばかりだそうです。若い人から見たら芦屋の魅力ってあるのかな？と感じてしまいます。 ・いじめ問題について、少し前にニュース記事で拝見しましたが、芦屋市の対応は不十分で非常に残念だと感じました。私の子ども達が小学生の頃も同級生のお子様がいじめに遭い、市に報告しましたが対応はしてもらえなかったとのことで転校されました。このような件で辛い思いをされるお子様がいなくなることを願います。

5 中学生本人

分類回答	件数
(1) 家庭における子育てへの支援	
① 多様な子育て支援サービス環境の整備	0
② 子育て家庭への経済的支援	2
③ ひとり親家庭の自立支援	0
④ 親と子の健康づくりの推進	0
⑤ 子育ての悩みや不安への支援	0
(2) 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
① 就学前教育・保育の体制確保	0
② 小学校への円滑な接続	0
(3) すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
① 地域における子どもの居場所づくりの推進	0
② 安全・安心なまちづくりの推進	2
③ 児童虐待防止対策の推進	0
④ 配慮が必要な子どもとその保護者への支援	0
(4) 仕事と子育ての両立の推進	
① 仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	0
② 産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	0
(5) その他	12

※頂いた意見は原文のまま使用しております。

項目	主な意見
基本目標1 家庭における子育てへの支援	
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市民だからと言ってみんながお金持ちな訳では無いと思います。もし子供の医療費がかからないようにしたり、学費や教育費の負担を減らす事が出来れば家計の負担が減り、安定した毎日を過ごせることや、子供たちの将来の視野が広がるなどよりよい生活を送れると思います。 ・学費や医療費の負担が大きいので、皆平等に無償化や給付を行ってほしい。学校の先生の声が小さかったり、授業がわかりにくいことがある。
基本目標3 すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
安全・安心なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の歩道が狭くて危ないところが多いし、朝、大人の自転車のスピードが怖い。部活帰り、街灯が少なくて危なくて怖い。大通りだけが明るい。学校のロッカーが小さくて荷物が入りきらないです。 ・駅までの、通学で安全に使える自転車道を整備して欲しい（車との接触でドキッとすることがよくある）
配慮が必要な子どもとその保護者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を抜けなくてもカウンセリングを受けられるようにしてください。放課後や土曜でもいいです。少人数授業を受けたい。先生がいじめや差別言動をしたときはちゃんとした人から注意してほしい。保護者では効果がなかった。毎年の健康診断でうつ病などの検査もしてほしい。学級活動という授業をなくしてほしい。急に校則を変えないでほしい。自由席にしてほしい。「男子」「女子」という括りをやめてほしい、特に制服。「ズボン制服」「スカート制服」「私服」など。これ以上しんどくならないように、わたしを特定しないでください。 ・先生の質を上げることを最優先にしてほしいです。ある先生の発言や行動でたくさん傷つけられてきました。頑張りたいのに頑張れない、やりたいのにやれないそんな理不尽なことが続いた3年間でした。本当に子どものことを考えてくださるなら、まず子どもに関わる人を選ぶべきだと思います。
その他	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学歴あっても、人間力がないと働き続けることは不可能です。学歴に関係ない、居場所、ゆとり、働く場所があったら良い。 ・このアンケートで答えた「学校」というのは、僕が今通っているフリースクールの事です。前の中学校では、相談も意見も聞いてもらえず苦しかったです。市の相談場所も、ちゃんと聞いてもらえず「サボリ」みたいに言われて嫌でした。先生たちが忙しいのは理解出来たけど、僕の気持ちもわかって欲しかったです。今は、自分に最適な場所にいられるので救われました。フリースクールに毎日通えてるからって、戻そうとしないで欲しいです。

子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力をお願い～

【ご協力をお願い】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
戸屋市では、『子育て未来応援プラン「あしや」』（令和2～6年度）を策定し、子育て支援施策を推進しております。

次期計画の策定にあたり、教育・保育・子育て支援に関する各施策の今後の取組の組みを検討するため、本調査を行います。

このアンケートは、令和7年度からの5か年の事業計画を決める大切なものですので、ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

※ この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの就学前のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただきました。

※ ご回答は、すべて無記名で、個人が特定されることや、他の目的に使用することはありません。

令和5年11月

戸屋市長 高島 峻輔

To those who require this survey in English

(英語の翻訳を必要とする方へ)

Answering this survey is optional. An English version of this survey is available. Therefore, if you would like to participate in this survey, please send an e-mail to the following address. Thank you for your cooperation. E-mail: kosodatesuisin@city.ashiya.lg.jp

- ・ご回答は、できるかぎり封筒の宛名のお子さんの保護者の方にお願ひしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している段階でもありますので、最終頁までご回答くださいますようお願いいたします。
- ・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- ・時刻を記入するところでは、当てはまる時刻を、24時間表記で記載してください。
(例) 9時30分～18時00分、17時30分まで
- ・ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、**12月22日(金)まで**にご返送ください。(切手は不要です。)
- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問合せ】 戸屋市こども福祉部 こども家庭室 とも政策課

電話: 38-2045 (平日 9:00～17:30 (12:00～12:45 は除く))

FAX: 38-2190

V 調査票

1 就学前保護者

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる町に○をつけてください。

地区		【参考】小学校区			
1. 炭池町	2. 奥池町	3. 奥山	4. 大原町	5. 上宮川町	山手小学校区
6. 柳谷	7. 三条町	8. 三桑町	9. 清水町	10. 月吉町	※一部調整区域あり
11. 葉平町	12. 西戸屋町	13. 西山町	14. 栄戸屋町	15. 船戸町	
16. 前田町	17. 松ノ内町	18. 山戸屋町	19. 山手町		
20. 岩園町	21. 権町	22. 新工保町	23. 翠ヶ丘町	24. 六蔵荘町	岩園小学校区
25. 朝日ヶ丘町	26. 東山町				朝日ヶ丘小学校区
27. 伊勢町	28. 大柳町	29. 川西町	30. 公光町	31. 精造町	精造小学校区
32. 竹園町	33. 茶屋之町	34. 津知町	35. 浜戸屋町	36. 平田北町	
37. 平田町	38. 松浜町				
39. 打出小幡町	40. 呉川町	41. 西蔵町	42. 浜町	43. 宮川町	宮川小学校区
44. 野塚町	45. 若宮町				
46. 打出町	47. 春日町	48. 大東町	49. 菊宮町		打出浜小学校区
50. 海洋町	51. 瀬鼻町	52. 涼風町	53. 緑町	54. 南浜町	瀬見小学校区
55. 陽光町	56. 若菜町				※一部調整区域あり
57. 高浜町	58. 新浜町	59. 浜島町			浜島小学校区

2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

〔 平成・令和〕 年 月 生まれ

問3 お子さんのきょうだいはいくらいますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。

〔 きょうだい数 〃 人 〕

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者(パートナー)がいる 2. 配偶者(パートナー)はいない

問6 お子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母とちに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

問7 何人家族ですか。
 ※専業主任・入院・入所の方など、家計を一緒にしたり、定期的に帰省する方は家族の人数に含めて回答してください。

家族の人数 (あなたを含めて) _____人

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 子育てを楽しいと感じることは多いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 楽しいと感じることが多い
- 2. 楽しいことと辛いこととを感じる事が同じくらい
- 3. 辛いと感じることが多い
- 4. わからない
- 5. その他 ()

問9 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどはありますか。

- 1. すくある
- 2. 少しある
- 3. ほとんどない

問10 問9で「1」まである、「2」少しある」に○をつけたい方がいます。
 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) ことにも関すること

- 1. 病氣や養育費に關すること
- 2. 食事や栄養に關すること
- 3. 子育て支援サービスのこと
- 4. 子どものしつけに關すること
- 5. ことと過ごす時間が十分に取れないこと
- 6. 子どもの教育・保育に關すること
- 7. 子どもの友だちつきあいに關すること
- 8. 子どもの登所・登園拒否など
- 9. 特にない
- 10. その他 ()

(2) ご自身に關すること

- 1. 子育てに關して配偶者(パートナー)の協力が少ないこと
- 2. 配偶者(パートナー)と子育てに關して意見が合わないこと
- 3. 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと
- 4. ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること
- 5. 子育てに關して話し相手や相談相手がいらないこと
- 6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
- 7. 配偶者(パートナー)以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
- 8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
- 9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
- 10. 子どもの教育にかける経済的な不安が大きくなっていること
- 11. 特にない
- 12. その他 ()

問11 日頃、お子さんを見てもらええる親族、知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 日常的に祖父祖母の親類にみてもらえる
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父祖母の親類にみてもらえる
- 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 5. いずれもない

問12 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. いる/ある [問12-1へ]
- 2. ない [問13へ]

問12-1 問12で「1」いる/ある」に○をつけたい方がいます。
 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 祖父祖母の親族
- 2. 友人・知人
- 3. 近所の人
- 4. 子育て支援施設(児童センター等)・NPO
- 5. 保健所・子ども家庭・保健センター
- 6. 保育所(区)・幼稚園・認定こども園等
- 7. 民生委員・児童委員
- 8. かかりつけの医師
- 9. 自治体の子育て支援担当窓口
- 10. 社会福祉協議会(総合相談窓口)
- 11. 障がい児相談窓口(相談支援事業所等)
- 12. インターネット・SNS
- 13. その他 ()

問13 下記の相談機関で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

施設・事業	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後利用したい
① 子どもの家庭・保健センター 子どもの家庭総合支援担当(妊娠・出産・育児へのサポート)	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
② 子どもの家庭・保健センター 母子保健担当(赤ちゃんの健康に關すること)	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
③ 子どもの家庭・保健センター 子育てセンター(おむつ・パナソニック子育てセンター)	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
④ 西宮子ども家庭センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ

⑤ 戸籍謄本福祉事務所（戸籍係健診所）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑥ 児童センター（上野川文化センター内）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑦ 障がい児相談窓口（相談支援事業所等）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑧ 青少年支援センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑨ その他（ ）		1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ

問 13-1 あなたは問 13 で「利用したことがある」と答えた相談機関に列挙して、不満をもったことがありませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. ある 【問 13-2 へ】
2. ない 【問 14 へ】

問 13-2 不満の理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スタッフの対応（態度、話しかけにくい等）
2. サービスの内容（相談が解決しない、十分ではないなど）
3. 雰囲気（全体の雰囲気になじめない、汚れている、暗いなど）
4. 他の利用者（人が多すぎる、マナーが悪いなど）
5. 距離・アクセス（自宅から遠い、出かけるのに不便、駐車場がないなど）
6. その他（ ）

問 14 ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年 1 年間（令和 4 年 1 月～令和 4 年 12 月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料、介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

※家族とは、問 7 で答えていただいた方全員のことで、
※収入には、月給や賞与などの働いた収入だけでなく、株式配当や副収入を合計してください。
※児童手当や進学補助、生活保護などの公的な援助手当は除いた額をお答えください。

世帯の収入は年間（ ）万円）<ら

問 15 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、愛護が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. よくあった 2. とさじきあった
3. まれにあった 4. まったくなかった

問 16 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、愛護が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属、宝飾品は含みません。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. よくあった 2. とさじきあった
3. まれにあった 4. まったくなかった

就学前-4

問 17 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 電気料金 2. ガス料金 3. 水道料金 4. いずれも当てはまらない

問 18 問 17 で「1」に○をつけた方がいらっしゃいます。あなたの世帯で、節約するものであればどの分野の費用を節約できますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 食費 2. 娯楽費 3. 教育費 4. 住居費
5. 光熱水費 6. 通信費 7. 遊園費
8. その他（ ）

4. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 19 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従業員含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（1 週 5 日曜祝・1 日 8 時間程度）の就労、以下同様）で就労している 【(1)-1 へ】
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. ハート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している
4. ハート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. (お子さんが生まれる前を含め) 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. (お子さんが生まれる前を含め) これまで就労したことがない 【(2) へ】

(1) - 1 【1】で「1」で「1」~「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（就業時間を指す）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 分
家を出る時間 時 分 帰宅時間 時 分

(2) 父親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（1 週 5 日曜祝・1 日 8 時間程度）の就労、以下同様）で就労している 【(2)-1 へ】
2. フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である
3. ハート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している
4. ハート・アルバイト等で就労しているが、産休・介護休業中である
5. (お子さんが生まれる前を含め) 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. (お子さんが生まれる前を含め) これまで就労したことがない 【問 22 へ】

就学前-5

(2) -1 (2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけただけに○をつけたい方がいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入ること前前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間 分

家を出る時間 時 分 帰宅時間 時 分

問 20 問 19の(1)または(2)で「3」「4」(パート・アルバイトまで就労している)に○をつけただけに○をつけたい方は、問 22へお進みください。
 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 21 問 19の(1)または(2)で「5以前に就労していたが、現在は就労していない」または「6これまで就労したことがない」に○をつけただけに○をつけたい方は、問 23へお進みください。
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当するには数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になつたころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態
 1. フルタイム
 2. パート・アルバイト等
 →1週当たり 日 1日当たり 時間 分

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になつたころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態
 1. フルタイム
 2. パート・アルバイト等
 →1週当たり 日 1日当たり 時間 分

5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と意向についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業です。具体的には、幼稚園や保育園(園)、など、問 22-1に示した事業が含まれます。

問 22 まべての方にうかがいます。お子さんは現在、幼稚園や保育所(園)などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している。 → 1 [問 22-1へ]
2. 利用していない。 → 2 [問 22-7へ]

問 22-1 ～ 問 22-6 は、問 22 で「1. 利用している」に○をつけたい方がいます。

問 22-1 利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育
3. 認可保育所
4. 認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）
5. 認定こども園（幼稚園部）
6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育
7. 認定こども園（保育部）
8. 小規模保育事業
9. 家庭的保育事業
10. 事業所内保育事業
11. ベビーシッター
12. ファミリー・サポート・センター事業
13. 障がい児支援施設
14. その他（ ）

問 22-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。____に具体的な数字でご記入ください。

- (1) 現在 1 週当たり ____ 日 1 日当たり ____ 時間（ ____ 時 ____ 分～ ____ 時 ____ 分）
- (2) 希望 1 週当たり ____ 日 1 日当たり ____ 時間（ ____ 時 ____ 分～ ____ 時 ____ 分）

問 22-3 問 22-1 で「2. 幼稚園の預かり保育」または「6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育」に○をつけたい方がいます。どのくらい利用していますか。____に具体的な数字でご記入ください。

- 1 週当たり ____ 日 1 日当たり ____ 時間（ ____ 時 ____ 分～ ____ 時 ____ 分）

問 22-4 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

1. 戸屋内 2. 戸屋外（ ____ 市）

問 22-5 現在、利用している教育・保育事業の実施場所へ通う主な手段についてうかがいます。主な手段を1つ選んで○をつけてください。

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車
4. 通園バス 5. 路線バス 6. 電車
7. その他（ ____ ）

問 22-6 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. こどもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定である／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介している
5. 子育てをしている方に病気や障がいがある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（ ____ ）

問 22-7 問 22 で「2. 利用していない」に○をつけたい方がいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てしている方が在学中にいる
2. こどもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間保育の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. こどもが ____ 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他（ ____ ）

問 23 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生する事業もあります。

1. 幼稚園
2. 幼稚園の預かり保育
3. 認可保育所
4. 認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）
5. 認定こども園（幼稚園部）
6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育
7. 認定こども園（保育部）
8. 小規模保育事業
9. 家庭的保育事業
10. 事業所内保育事業
11. ベビーシッター
12. ファミリー・サポート・センター事業
13. 障がい児支援施設
14. その他（ ____ ）

問 23-1 **すべての方にかがいます。**教育・保育事業を利用したい理由についてかかいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 戸田市内 () 2. 戸田市外 () 3. どちらでもよい ()

問 23-2 **23**で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ**3**、**4**、**7**～**14**にも○をつけたい方がかかいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育）をわざわざ利用する場合がありますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい () 2. いいえ ()

問 23-3 **23**で「5. 認定こども園（幼稚園部）」または「6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育」に○をつけ、かつ**3**、**4**、**7**～**14**にも○をつけたい方がかかいます。特に認定こども園（幼稚園部）（預かり保育）をわざわざ利用する場合がありますか。強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい () 2. いいえ ()

問 23-4 **すべての方にかがいます。**今後、新たに教育・保育事業を遊ぶことを想定した場合、重視することとはどのようなことですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 教育・保育の内容や方針が希望に合う
 2. 教育・保育者の質が高い
 3. 保育に伴うサービス（預かり時間・バス送迎・課外教室等）が充実している
 4. 施設や設備が充実している
 5. 食育及び給食の提供の考え方が合う
 6. 園庭が広い
 7. 保育時間が利用希望に合う
 8. 認可されている施設である
 9. 保育料が適正である
 10. 親の負担の程度が軽い
 11. 親が運営・行事などに関わる機会が少ない
 12. 自宅から距離が近い
 13. 利用する駅や職場からの距離が近い
 14. 家族や知り合いが通っている（通っていた）
 15. 近所や知人の評判が良い
 16. 公立である
 17. 私立である
 18. 特別な支援が必要な子どもの受け入れ態勢が充実している
 19. 小学校や地域と積極的に連携している
 20. その他 ()

6 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてかかいます。

問 24 **すべての方にかがいます。**お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する□には数字をご記入ください。

- (1) 土曜日
 1. 利用する必要はない () 利用したい時間帯 ()
 2. ほぼ毎週利用したい () 時 () から () 時 () 分まで ()
 3. 月に1～2回は利用したい () 時 () から () 時 () 分まで ()

- (2) 日曜日・祝日
 1. 利用する必要はない () 利用したい時間帯 ()
 2. ほぼ毎週利用したい () 時 () から () 時 () 分まで ()
 3. 月に1～2回は利用したい () 時 () から () 時 () 分まで ()

問 24-1 **問24の(1)または(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけたい方がかかいます。**毎週ではなく、月に数回利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
 3. 子供の介護や手合いが必要のため 4. リフレクソンのため
 5. その他 ()

問 25 「幼稚園、または「認定こども園（幼稚園部）」を利用されている方にかかいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。該当する番号に○をつけ、該当する□には数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

1. 利用する必要はない () 利用したい時間帯 ()
 2. 休みの前後中、ほぼ毎日利用したい () 時 () から () 時 () 分まで ()
 3. 休みの前後中、週に数回利用したい () 時 () から () 時 () 分まで ()

問 25-1 **問25で、「3. 休みの前後中、週に数回利用したい」に○をつけたい方がかかいます。**毎週ではなく、週に数回利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため 2. 長い期間の用事をまとめて済ませるため
 3. 子供の介護や手合いが必要のため 4. リフレクソンのため
 5. その他 ()

7. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 26 問 22 で現在、幼稚園や保育所(園)などの「定期的な教育・保育事業」を「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった → [問 28-1へ]
2. なかった → [問 27へ]

問 26-1 問 26 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

1年間の対処方法	日数
1. 母親が休んだ	日
2. 父親が休んだ	日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
4. 母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた	日
5. 病児・病後児保育を利用した	日
6. ハビリーターを利用した	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
8. 仕方なく子どもだけで保育室をさせた	日
9. その他()	日

【問 27へ】

問 26-2 問 26-1 で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児保育のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい → 年間 日
2. 利用したいとは思わない

問 27 すべての方にうかがいます。病児・病後児保育について、利用したことがある、なしに関わらず、感じていることを教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. どうしても仕事を休めないときに、こどもを預けられる
2. 安心してこどもを預けられる人(祖父母など)がいぬいときに利用できる
3. 1日だけでも利用できる
4. 看護師・保育士が常駐しているため安心して利用できる
5. こどもの負担が大きい
6. 初めての場所であんなにスタッフの挨拶を聞かせることに抵抗がある
7. 自宅近くではない
8. 利用料が高い
9. 申し込みや支払い方法等、利用手続きが複雑
10. 申込みをしても従業員がいっぱいで断られることが多い
11. 家族や親戚等で対応できる
12. その他()
13. 他にない

8. すべての方に、お子さんの不特定の教育・保育事業や一時預かりなどの利用についてうかがいます。

問 28 お子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不特定に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数をご記入ください。また、今後の利用意向についてもご記入ください。

事業名	利用している事業・日数(半日)	今後の利用意向
1. 一時預かり	日	ある ない
2. 幼稚園の預かり保育	日	ある ない
3. ファミリー・サポート・センター	日	ある ない
4. ハビリーター	日	ある ない
5. 障がい児支援施設	日	ある ない
6. 児童ケア	日	ある ない
7. その他()	日	ある ない
8. 現在利用していない、今後も利用意向はない		

問 29 お子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
ア 私用(障病、こども(兄弟姉妹を含む)や親の通院、車通、リフレックソ目的)		日
イ 幼稚園、学校行事、こども(兄弟姉妹を含む)や親の通院		日
ウ 不特定の就労		日
エ その他()		日
2. 利用する必要はない		

問 30 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病状など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思えますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童福祉施設等で一定期間、ご自宅を保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を記入ください。利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の差数を数字で記入ください。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

利用したい	計	泊
ア 冠婚葬祭		泊
イ 保護者や家族の育児疲れ・不安		泊
ウ 保護者や家族の病状		泊
エ その他（ ）		泊

9. すべての方に、お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 31 お子さんは、現在、子育てのひろば[※]（むくむく・パンビ・キオクララブ・ひよしお・もこもこ・プリアンジュ・小畑ひろば・西山ひろば）を利用していますか。当てはまる番号に○をつけ、該当する__には数字をご記入ください。

1. 利用している 1 週当たり__回 もしくは 1か月当たり__回程度

2. 利用していない

注：地域の子育て中の親子が集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場所

問 32 問 31 の子育てのひろばについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する__には数字をご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり__回 もしくは 1か月当たり__回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週当たり 更に__回 もしくは 1か月当たり 更に__回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

【子育てのひろば一覧】

対象	名称	場所	所在地	開催日	時間
幼児	むくむく	子育てセンター	呉川町 14-9	月～土曜日 (水曜日は休み)	10:00～16:00 (12:00～13:00昼休み)
	パンビ	西城こども園	西城町 13-5	月～木曜日	10:00～16:00 (12:00～13:00昼休み)
	キオクララブ	浜島あすのこども園	浜島町 1-2	月～木曜日	10:00～15:00
	ひとしお	しめさいこども園	浜島町 5-2	月～金曜日	10:00～15:00
	もこもこ	児童センター (上宮川北センター)	上宮川町 10-5	金曜日 第2・4・5年後のみ 13:00～16:00	10:00～16:00 (12:00～13:00昼休み)
	プリアンジュ	岩崎幼稚園	岩崎町 24-3	土曜日	10:00～12:00
	西山ひろば	西山幼稚園	西山町 22-15	火曜日	13:00～15:00 ※休校日 9:30～11:30
	小畑ひろば	小畑幼稚園	打出小畑町 15-7	木曜日	10:00～16:00 (12:00～13:00昼休み)

出典：令和5年5月 芦屋市発行「子育てサポートブックわくわく子育て」26～29ページより抜粋
「子育てサポートブックわくわく子育て」をご覧になりたい方は、こちらを参照してください。



問 33 下記の施設や事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、該当するところに○をつけてください。

施設・事業	A 知っている	B 利用したことある	C 今後利用したい
①カンガルークラブ（子育てセンター等） 第1子（1歳未満）のお子さんのいるママが揃って、親子の関わり方を学びながらたくさんの子と交流できる場			
②あそぼう会（子育てセンター） 保護者センターの運動室で、親子で体を動かして自由に遊ぶ場			
③あひ・あいはら一む（民生児童委員協議会が運営する子育てひろば） 市内の公民館等で親子が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場			
④児童センター（上宮川文化センター）			
⑤子育て自主活動グループ 地域の親子がグループをつくり、幼稚園や子育てセンターで自主的に活動できるもの			
⑥おさんさんひろば（幼稚園） 市立幼稚園で開催している3歳以上のこどもが対象の親子で遊ぶ場			
⑦幼稚園で遊ぶう会 未就園児が市立幼稚園で遊ぶたり、在園児と交流できる場			
⑧園庭開放（幼稚園・認可保育所・認定こども園） 園庭を地域の親子のために開放して遊んだり子育てで悩んだりできる場			
⑨育児相談（幼稚園・認可保育所・認定こども園） こどもの養育に関するさまざまな相談について、保護者からの相談にのり、情報提供や助言を行うもの			
⑩応接室（分室含む）			
⑪男女共同参画センター「ウィザースあじや」			
⑫市民センター・公民館			
⑬青少年センター・体育館			
⑭相談支援事業所等			
⑮特別支援教育センター（保健福祉センター） 障がいのあるこどもに対する教育や支援を行う施設			
⑯こども家庭・保健センター（子育て世代包括支援センター・こども家庭総合支援室） 妊娠から、8歳までのこどもと家庭について、すべての相談・援助を行う。			
⑰産後ケア事業、育児支援家庭訪問事業（家事援助）等			

10. お子さんから6歳以上の保護者の方にかがいます。

問 34 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）になったとき、放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思えますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

1. 自宅 週（ ）日くらいい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 週（ ）日くらいい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等） 週（ ）日くらいい
4. 体育館や福祉センターなど公共の施設 週（ ）日くらいい
5. 放課後子ども教室（キッズスクエア^{※1}等） 週（ ）日くらいい
6. 放課後児童クラブ^{※2}（学童保育） 週（ ）日くらいい
7. コミスク^{※3} 週（ ）日くらいい
8. ファミリー・サポート・センター 週（ ）日くらいい
9. 障がい児支援施設 週（ ）日くらいい
10. その他（ ） 週（ ）日くらいい

注1. 小学校を利用して、地域の方の参画も得ながら、児童が放課後や長期休業中などを安心して過ごせる居場所の提供を行う事業。
 注2. 保護者が強制参加により長期滞在しない小学生に、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供するもの。
 注3. 地域社会の中で、文化活動・スポーツ活動・福祉活動・地域活動等を通じて、よりよいコミュニケーションの創出・発展を図ることを目的に活動している団体

問 35 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったとき、放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思えますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

1. 自宅 週（ ）日くらいい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 週（ ）日くらいい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等） 週（ ）日くらいい
4. 体育館や福祉センターなど公共の施設 週（ ）日くらいい
5. 放課後子ども教室（キッズスクエア等） 週（ ）日くらいい
6. 放課後児童クラブ（学童保育） 週（ ）日くらいい
7. コミスク 週（ ）日くらいい
8. ファミリー・サポート・センター 週（ ）日くらいい
9. 障がい児支援施設 週（ ）日くらいい
10. その他（ ） 週（ ）日くらいい

問 36 問 34 または問 35 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけたい方がいます。該当しない方は、問 37 へお進みください。土曜日・日曜日・祝日・夏休み等の三季休業中に利用したいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

1. 土曜日に利用したい	時	分から	時	分まで
2. 日曜日に利用したい	時	分から	時	分まで
3. 夏休み等の三季休業中に利用したい	時	分から	時	分まで
4. 利用希望はない				

11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など雇員の雇立支援制度についてかがいます。

問 37 育児休業給付が支給される仕組みや期間（平成 29 年から延長 2 年間となっている）、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしょうか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 38 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- (1) 母親
1. 働いていなかった
 2. 取得した（取得中である）
 3. 取得していない

取得していない理由（当てはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 働いて育児休業を取りにくい環境であった
2. 仕事が増えた
3. (産休後) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に復帰するが経済的に苦しかった
5. 産後・育児などが重なり、復帰しなかった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園（園）などに預けることができた
8. 家族（パートナー）が育児休業制度を利用した
9. 制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するために復帰した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 育児休業のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前 6 週間、産後 8 週間）を取得できることを知らず、復帰した
15. その他（ ）

- (2) 父親
1. 働いていなかった
 2. 取得した（取得中である）
 3. 取得していない

取得していない理由（当てはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 働いて育児休業を取りにくい環境であった
2. 仕事が増えた
3. 仕事に復帰するが経済的に苦しかった
4. 再婚・再婚などが重なり、復帰しなかった
5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 保育園（園）などに預けることができた
7. 家族（パートナー）が育児休業制度を利用した
8. 制度を利用する必要がなかった
9. 子育てや家事に専念するために復帰した
10. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
11. 育児休業のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 育児休業を取得できることを知らなかった
13. その他（ ）

問 38-1 問 38 で申請または父親が「2.取得した(取得中である)」に○をつけた方にかがいます。なお、母親または父親のうち、どちらかが育児休業期間を長く取得した方についてお答えください。該当しない方は、問 39へお進みください。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業取得後、職場に復帰した。1
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問 38-2 「1.育児休業復帰後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。

問 38-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所(園)の入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

※「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」には、次の内容も含まれます。
・年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時期に認可外保育施設に入所した場合
・年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所(園)に入所できなかったという場合

問 38-3 育児休業からは、「希望」に期間内、「希望」としては何歳何か月か。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内、「希望」としては何歳何か月か。また、お勤め先には数字をご記入ください。

実際の取得期間 歳 か月 希望 歳 か月

問 38-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休職できる制度があった場合、「希望」としてはお勤め先が何歳何か月か。また、お勤め先には数字をご記入ください。

希望 歳 か月

問 38-5 問 38-3 で「希望」の欄と「希望」が異なる方にかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- (1) 「希望」より早く復帰した方
 1. 希望する保育所(園)に入らなため
 2. 配偶者(パートナー)や家族の希望があったため
 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
 5. その他

- (2) 「希望」より遅く復帰した方
 1. 希望する保育所(園)に入れなかったため
 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなくなったため
 3. 配偶者(パートナー)や家族の希望があったため
 4. 職場の受け入れ態勢が悪くなったため
 5. ことをみてくれる人がいなかったため
 6. その他

問 38-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用する必要があった
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

就学前-18

問 38-7 問 38-6 で「3.利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にかがいます。
短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が大変だった
3. 短時間勤務にするのが煩雑で、経済的に吉しくなる
4. 短時間勤務にするのが保育所(園)の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者(パートナー)が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者(パートナー)が無職、祖父母等の頼りにてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため返願した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他

問 38-8 問 38-7 で「2.現在も育児休業中である」に○をつけた方にかがいます。
お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますが、または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

12. 子どもの権利についてかがいます。

問 39 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 『子どもの権利』とは、「子どもの権利条約」に大きく分けて4つの権利が定められています。
①生きる権利…住む場所や食べ物がある、医療を受けられる。命が守られる。
②育つ権利…教育を受けられる。持っている能力を伸ばす。
③守られる権利…虐待を受けない。労働を強要されない。幸せを奪われない。
④参加する権利…自分の意見を自由に言う。団体活動や集会を開ける。

1. 名前も内容も知っている
2. 名前を知っているが内容は知らなかった
3. 知らなかった

問 40 こどもの権利の中でより充実を図る必要があると思うものに○をつけてください。(最大3つまで○をつけてください。)

1. 人種、性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと
2. 罵言葉や言葉で傷つけないこと
3. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
4. 自分の考えを自由に言えること
5. 人と違う自分らしさが認められること
6. 自分の秘密が守られること
7. 自分からは自分で決められること
8. 自由な時間をもつこと
9. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
10. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
11. 保護者から世話をされること(家事、洗濯他)

就学前-19

問 47 お子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか(留学を含む)。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|--------------|-------------------|
| 1. 中学まで | 2. 高校まで | 3. 高校まで (海外) |
| 4. 短大・高専・専門学校まで | 5. 大学またはそれ以上 | 6. 大学またはそれ以上 (海外) |
| 7. まだわからない | | |

問 48 図47で「1」～「6」に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. お子さんがそう希望しているから | 2. お子さんが幸せになれると思うから |
| 3. 一般的な進路だと思うから | 4. お子さんの学力から考えて |
| 5. 家庭の経済的な状況から考えて | 6. その他 () |
| 7. 特に理由はない | |

問 49 あなたが現在、または将来的に必要としていること、重要だと思う支援等ほどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. こどものことや生活のことなど悩みごとを相談できること |
| 2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること |
| 3. 地域の人がら取ってもらえること |
| 4. 就職のことや養育費のことなどについて法的な相談ができること |
| 5. 病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること |
| 6. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること |
| 7. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にこどもを預けられること |
| 8. こどもの就学にかかる費用が軽減されること |
| 9. 一時的に必要な資金を借りられること |
| 10. 就職・転職のための支援が受けられること |
| 11. 特にない |
| 12. その他 () |

問 50 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|----------------|
| 1. 言葉も何も知らない |
| 2. 言葉は聞いたことがある |
| 3. 知らない |

注 ヤングケアラーとは、障がいや病气、虐待などをはじめとしてケアを要する家族がおり、介護を担わざるを得ない状況で親や家族の世帯などに暮らす10歳未満のこどもを指す言葉です。ヤングケアラーは本人自身が担当するほか、以下のようなケアを行っている子、障がいのある者が居る家庭の介護や介助をする、病気で働けない親の代わりに労働を行う。

問 51 あなたは周りの人にヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 本人に様子を見る | 2. 家族、知人、友人に相談する |
| 3. 先生や部活の顧問等に相談する | 4. 関係者間に相談する |
| 5. 何もしない | 6. わからない |
| 7. その他 () | |

問 52 最後に、声優市でどのような子育てができるようになると良いと思いますか。あなたが子育てをされている中で、声優市が行っている施策で役に立ったこと、良かったと感じていることや改善または充実してほしいと感じる点について、ご意見がございましたら、ご自由に記入ください。



声優市の施策については、こちらを参考にしてください。

検索

声優市子育て天然劇場プラン

同封の封筒に入れて、切手は貼らずに12月22日(金)までにご返送ください。アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

子育てに困ることがあればご相談ください。

URL: <https://www.city.sashiyu.lg.jp/kodomo/documents/14koosodstemikemarukotogesaraba.pdf>



2 小学生保護者

小学生保護者用

子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力をお願いします～

【ご協力をお願いします】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
戸屋市では、『子育て未来応援プラン「あしや」』（令和2～6年度）を決定し、子育て支援施策を推進しております。

次期計画の策定にあたり、教育・保育・子育て支援に関する各施策の今後の取り組みを検討するため、本調査を行います。

このアンケートは、令和7年度からの5年間の事業計画を決める大切なものですので、ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

※ この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの就学のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただきます。

※ ご回答は、すべて無記名で、個人が特定されることや、他の目的に使用することはありません。

令和5年11月

戸屋市長 高島 貞輔

To those who require this survey in English

(英語の翻訳を必要とする方へ)

Answering this survey is optional. An English version of this survey is available. Therefore, if you would like to participate in this survey, please send an e-mail to the following address. Thank you for your cooperation. E-mail: kosodatesuisin@city.ashiya.lg.jp

- ご回答は、できるかぎり到簡の宛名のお子さんへの保護者の方にお願ひしますが、ご家族の方や一踏にお住まいの方にもご協力いただけますようお願いいたします。
- 調査票の真数が多くありますが、回答していただく方を限定している段階でもありますので、最終までご回答くださいますようしくお願ひいたします。
- 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の教だけOで囲んでください。
- 時刻を記入するところでは、当てはまる時刻を、24時間表記で記載してください。
(例) 9時30分～18時00分、17時30分まで
- ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、**12月22日(金)までにご返送ください。**(切手は不要です。)
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問合せ】 戸屋市子ども福祉部 子ども家庭課

電話: 38-2045 (平日9:00～17:30 (12:00～12:45は除く))

FAX: 38-2190

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる所に○をつけてください。

地区		【参考】 小学校区			
1. 築地町	2. 奥地町	3. 奥山	4. 大瀬町	5. 上岩川町	山王小学校区
6. 鏡谷	7. 三條町	8. 三条町	9. 清水町	10. 月形町	※一部調整区域あり
11. 葉平町	12. 西戸邊町	13. 西山町	14. 栗戸翠切	15. 杉戸町	
16. 前田町	17. 松ノ内町	18. 山戸原町	19. 山手町		
20. 岩瀬町	21. 柿町	22. 野三宮町	23. 藜ヶ丘町	24. 六幡庄町	岩屋小学校区
25. 朝日ヶ丘町	26. 栗山町				朝日ヶ丘小学校区
27. 伊勢町	28. 大瀬町	29. 川西町	30. 公光町	31. 橋西町	
32. 竹園町	33. 茶屋之町	34. 津和町	35. 浜戸翠切	36. 平田北町	晴道小学校区
37. 平田町	38. 松原町				
39. 打出小峰町	40. 鳴川町	41. 西瀬町	42. 茶町	43. 香川町	香川小学校区
44. 空保町	45. 若忍町				
46. 打出町	47. 豊日町	48. 大栗町	49. 南宮町		
50. 知津町	51. 潮間町	52. 京速町	53. 緑町	54. 南浜町	湖原小学校区
55. 西光町	56. 新栗町				※一部調整区域あり
57. 高浜町	58. 新浜町	59. 浜邊町			浜屋小学校区

2. 到簡の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

平成 年 月 日生まれ

問3 お子さんのきょうだいはいくらいらっしゃいますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。

きょうだい数 人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者(パートナー)がいる 2. 配偶者(パートナー)はいない

問6 お子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父親と共 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他

問7 何人家族ですか。
※単身赴任・入籍・入系の方など、家族を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族の人数に含めて回答してください。

家族の人数(お盆を数えて) 人

小学生-1

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 8 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い
2. 楽しいことと辛いこととを感じる事が同じくらい
3. 辛いと感じることが多い
4. わからない
5. その他 ()

問 9 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどはありませんか。

1. すくある
 2. 少しある
 3. ほとんどない
- 【問 10へ】
3. ほとんどない
- 【問 11へ】

問 10 問9で「1. すくある」「2. 少しある」に○をつけた方にうかがいます。子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) ことにも関すること

1. 病気や育児参差に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子育て支援サービスのこと
4. こどものしつけに関すること
5. こどもと過ごす時間が十分に取れないこと
6. こどもの教育・保育に関すること
7. こどもの友だちつきあいに關すること
8. こどもの登所・登園拒否など
9. 特にない
10. その他 ()

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者（パートナー）の協力が少ないこと
2. 配偶者（パートナー）と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいらないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲労が大きいこと
10. こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること
11. 特にない
12. その他 ()

問 11 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日頃常に祖父祖母の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父祖母の親族にみてもらえる
3. 日頃別にごともをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際にはごともをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問 12 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. いる/ある
 2. ない
- 【問 12-1へ】
- 【問 13へ】

問 12-1 問12で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父祖母の親族
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（児童センター等）・NPO
5. 保健所・こども家庭・保健センター
6. 学校教師
7. 先生委員・児童委員
8. かかりつけの医師
9. 自治体の子育て推進担当窓口
10. 社会福祉協議会（総合相談窓口）
11. 障がい児相談窓口（発達支援事業所等）
12. インターネット・SNS
13. その他 ()

問 13 **すべての方にかかいます。**下記の相談機関で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後利用したい
施設・事業			
①子ども家庭・保健センター（こども家庭総合支援担当）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
②西宮こども家庭センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
③戸屋健康福祉事務所（戸屋保健所）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
④児童センター（上宮川文化センター）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑤障がい児相談窓口（結婚支援事業所等）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑥学校教育課	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑦カワフンセラミックセンター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑧通所教室（のびのび学級）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑨青少年愛護センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑩その他（ ）			

小学生-4

問 13-1 あなたは問 13 で「利用したことがある」と答えた相談機関に対して、不運をもったことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある 【問 13-2へ】
2. ない 【問 14へ】

問 13-2 不運の理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スタッフの知識（態度、話しかたにたいして）
2. サービスの対応（相談が簡単じゃない、十分ではないなど）
3. 雰囲気（全体の雰囲気はいいけど、汚れている、暑いなど）
4. 他の利用者の人気が多すぎる、マナーが悪いなど）
5. 距離・アクセス（自宅から遠い、山がけの道に不便、駐車場がないなど）
6. その他（ ）

問 14 **すべての方にかかいます。**ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年1年間（令和4年1月～令和4年12月）の、家族委員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

※家族とは、問7で答えていただいた方全員のことです。
※収入には、月給や賞与などの働いた方だけの収入だけでなく、株式配当や副収入を合計してください。
※児童手当や就学援助、生活保護などの公的収入は除いた額をお答えください。

世帯の収入は年間（ ）万円）<らい

問 15 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、贈り物は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった
3. まれにあった 4. まったくなかった

問 16 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった
3. まれにあった 4. まったくなかった

問 17 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 電気料金 2. ガス料金 3. 水道料金 4. いずれもあてはまらな

問 18 **問 17で1～3に○をつけただけの方にかかいます。**あなたの世帯で、節約するのであればどの分野の費用を節約できますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 食費 2. 娯楽費 3. 教育費 4. 住居費
5. 光熱水費 6. 通信費 7. 交通費
8. その他（ ）

小学生-5

問 19 下記の施設や事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、該当するところに○をつけてください。

施設・事業	A 知っている			B 利用したことがある			C 今後利用したい		
① 図書館（分室含む）									
② 市民センター・公民館									
③ 青少年センター・体育館									
④ 児童センター（上宮川文化センター）									
⑤ 相談支援事業所等									
⑥ 特別支援教育センター（保健福祉センター） 障がいのある子どもに対する教育的支援を行う拠点									
⑦ スタディールム（こども家庭・保健センター）									
⑧ ミュージックスタジオ（こども家庭・保健センター）									
⑨ こども家庭・保健センター（子育て世代包括支援センター・こども家庭総合支援室） 社通明から18歳までのこどもと家庭について、すべての相談・援助を行う。									

小学生-6

4. お子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

問 20 お子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業、以下同様）で就業している } 【(1) -1へ】

2. フルタイムで就業しているが、産休・育休・介護休業中である

3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就業、以下同様）で就業している

4. パート・アルバイト等で就業しているが、産休・育休・介護休業中である

5. (お子さんが生まれる前を含め)以前は就業していたが、現在は就業していない } 【(2)へ】

6. (お子さんが生まれる前を含め)これまで就業したことがない

(1) - 1 【1】で「1」～「4」(就業している)に○をつけてお方にうかがいます。

1 週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間（就業時間を指す）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。

就業日数や就業時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週当たり 日 1日当たり 時間 分

家を出る時間 時 分 帰宅時間 時 分

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業、以下同様）で就業している } 【(2) -1へ】

2. フルタイムで就業しているが、産休・介護休業中である

3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就業、以下同様）で就業している

4. パート・アルバイト等で就業しているが、産休・介護休業中である

5. (お子さんが生まれる前を含め)以前は就業していたが、現在は就業していない } 【(2)へ】

6. (お子さんが生まれる前を含め)これまで就業したことがない

(2) - 1 【2】で「1」～「4」(就業している)に○をつけてお方にうかがいます。

1 週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間（就業時間を指す）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。

就業日数や就業時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週当たり 日 1日当たり 時間 分

家を出る時間 時 分 帰宅時間 時 分

小学生-7

問 21 問 20 の (1) または (2) で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○を付けた方にうかがいます。該当しない方は、問 22 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 22 問 20 の (1) または (2) で「5 以前は就労していたが、現在は就労してはいない」または「6. これまで就労したことがない」に○を付けた方にうかがいます。該当しない方は、問 23 へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する__には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが__歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態
1. フルタイム
2. パート・アルバイト等

→1 週当たり__日 1 日当たり__時間__分

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが__歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態
1. フルタイム
2. パート・アルバイト等

→1 週当たり__日 1 日当たり__時間__分

5. お子さんの病気の療養の対応についてうかがいます。

問 23 すべての方にうかがいます。この 1 年間に、お子さんが病氣やけがで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった → 問 23-1 へ
2. なかった → 問 24 へ

問 23-1 問 23 で「1. あった」に○を付けた方にうかがいます。

お子さんが病氣やけがで学校を休まなければならなかった場合に、この 1 年間に行った療養方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。)

1 年間の対応方法		日数
1. 医師が休んだ		日
2. 父親が休んだ		日
3. (他者を含め) 親族・知人ごどもをみてもらった		日
4. 母親または父親のうち対応していない方がごどもをみた		日
5. 病院・診療所等を利用した		日
6. ペーパースタターを利用した		日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した		日
8. 仕がなくともだけで留守番をさせた		日
9. その他()		日

【問 24 へ】

問 23-2 問 23-1 で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」のどちらかに○を付けた方にうかがいます。

その際、「できれば病院・療養設備等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病院・療養設備等を利用したい → 日数__日
2. 利用したいとは思わない

問 24 **すべての方にかがいます。**病児・病後児保育について、利用したことある、なしに問わず、感じていることを教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. どうしても仕事を休めないときに、ごどもを預けられる	
2. 安心してごどもを預けられる人(祖父祖母など)がいなくて利用できない	
3. 1日だけでも利用できる	
4. 看護士・保育士が常駐しているため安心して利用できる	
5. ごどもの負担が大きいの	
6. 初めての場所や知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗がある	
7. 自宅近くでない	
8. 利用料が高い	
9. 申し込みや支払い方法等、利用手続きが複雑	
10. 申込みをしても定員がいっぱいで断られることが多い	
11. 家族や親戚等で対応できる	
12. その他()	
13. 特にない	

6. すべての方に、お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます。

問 25 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を記入してください。また、今後の利用意向についてもご記入ください。

事業名	利用している事業・日数(年間)	今後の利用意向
1. ファミリー・サポート・センター	日	ある ない
2. ベビーシッター	日	ある ない
3. 障がい児支援施設	日	ある ない
4. その他()	日	ある ない
5. 現在利用していない、今後も利用意向はない		

問 26 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
ア 私用(病児・病後児保育を含む)や親の通院(目的)		日
イ 冠婚葬祭、年次行事、ごども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など		日
ウ 不定期の就労		日
エ その他()		日
2. 利用する必要はない		

小学生-10

問 27 病児のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の費用滞りや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい冠婚葬祭以外に預ける必要があるかと思えますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、ごどもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字で記入ください)。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	泊
ア 冠婚葬祭		泊
イ 保護者や家族の育児滞り・不安		泊
ウ 保護者や家族の病気		泊
エ その他()		泊
2. 利用する必要はない		

7. お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 28 **すべての方にかがいます。**お子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちの放課後の過ごし方について、どのような場所をご希望か、利用したいか、または、過ごしていただきますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は()もご記入ください。

1. 自宅	週()	日()	回数()
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週()	日()	回数()
3. 習字(ピアノ教室、サッカークラブ、習字塾等)	週()	日()	回数()
4. 体育館や福祉センターなど公衆の施設	週()	日()	回数()
5. 放課後子ども教室(キッズスクエア ¹⁾ 等)	週()	日()	回数()
6. 放課後児童クラブ ² (学童保育)	週()	日()	回数()
7. コミスタ ³	週()	日()	回数()
8. ファミリー・サポート・センター	週()	日()	回数()
9. 障がい児支援施設	週()	日()	回数()
10. その他()	週()	日()	回数()

注1: 小学校を利用して、地域の方の参画も得ながら、児童が放課後や長期休業中などを安心して過ごせる居場所の提供を行う事業

注2: 保護者が労働等により長期滞在している小学生に、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供するもの。なお、利用にあたっては一定の利用料がかかります。

注3: 地域社会の中で、文化活動・スポーツ活動・福祉活動・地域活動等を通じて、よりよいコミュニティの創造・発展を図ることを目的としている団体

小学生-11

問 29 **すべての方にかがいます。**お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちの位置後の通こし方について、どのような場所で過ごさせたいと思えますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）も記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらいい
2. 祖父母や友人・知人宅	週（ ）日くらいい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラス、学習塾等）	週（ ）日くらいい
4. 体育館や福祉センターなど公共の施設	週（ ）日くらいい
5. 放課後子ども教室（キッズスクエア等）	週（ ）日くらいい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週（ ）日くらいい 下校時から（ ）時（ ）分まで
7. コミスク	週（ ）日くらいい
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらいい
9. 障がい児支援施設	週（ ）日くらいい
10. その他（ ）	週（ ）日くらいい

問 30 **問 28 または問 29 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけたい方にかがいます。**該当しない方は、問 31へお進みください。
土曜日、日曜日、夏休み等の三季休業中に利用したいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

1. 土曜日に利用したい	時 分から	時 分まで
2. 日曜日に利用したい	時 分から	時 分まで
3. 夏休み等の三季休業中に利用したい	時 分から	時 分まで
4. 利用希望はない		

問 31 **すべての方にかがいます。**家の近くのこどもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。当てはまる番号 3 つまで○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑などの自然が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
10. 遊び場周辺の道路が危険である
11. 遊び場に行っても子どもと同じくらい遊べない感じがしない
12. 特に感じることはない
13. その他（ ）

問 32 **すべての方にかがいます。**身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. こどもに遊びを誘えたり、しつこく誘ってくる場
2. こどもが放課後などに集まって、こども同士で自主活動などができる場
3. こどもが土曜日・日曜日に活動ができればいい場
4. こども自身が遊びを組織できる場
5. その他（ ）

8. こどもの権利についてうかがいます。

問 33 あなたは、「こどもの権利」を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 「こどもの権利」とは、「子どもの権利条約」に大きく分けて 4 つの権利が定められています。
① 生きる権利…住む場所や食べ物がある。医療を受けられる。命が守られる。
② 学ぶ権利…教育を受けられる。持っている能力を伸ばす。
③ 守られる権利…虐待を受けない。労働を強要されない。命を奪われない。
④ 参加する権利…自分の意見を自由に言える。団体活動や集会を開催する。

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は知っているが内容は知らなかった
3. 知らなかった

問 34 こどもの権利の中でより重要を図る必要があると思うものに○をつけてください。（最大 3 つまで○をつけてください。）

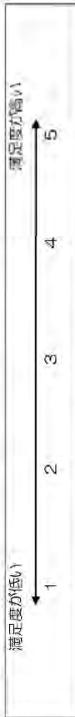
1. 人種、性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと
2. 暴言や言葉で傷つけられないこと
3. 家族が中傷く一言に過ぎず信頼をもちつこと
4. 自分の考えを自由に言えること
5. 人と違う自分らしさが認められること
6. 自分の秘密が守られること
7. 自分のことは自分で決められること
8. 自由な時間をもつこと
9. 自由な遊びでグループを作り集まれること
10. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
11. 保護者から同意をされること。（投票、施設利用）

問 35 あなたは、子育てをしている、こどもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 常にしている
2. とまどきしている
3. 疲れていない
4. まったくしたことがない

9.すべての方に、芦屋市の今後の子育て施策についてうかがいます。

問 36 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



問 37 地域の人に頼まれた場合に、お互いにサポートできると思うことありますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. ちよっとした買い物 | 2. 子育ての相談 |
| 3. 短時間のこともの預かり | 4. 保育所(園)・幼稚園・認定こども園等の送迎 |
| 5. 食事づくり | 6. 宿題をみる |
| 7. 話し相手 | 8. 近所のグループづくり |
| 9. 特になし | 10. その他() |

問 38 子育てをしながら仕事をしながら仕事を行う上での課題は何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. こともと過ごす時間が短い |
| 2. 家事、育児の負担が大き |
| 3. こともがいない同僚など職場での理解不足 |
| 4. こともに十分な教育機会(習い事等)を提供できていない |
| 5. 保育園、幼稚園等の施設不足 |
| 6. 配偶者との関係性 |
| 7. 希望する職務に就けない |
| 8. その他() |
| 9. 特になし |

問 39 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 子育てに就く相親、准親縁の充実 |
| 2. 親子・祖父母の交流の場の充実 |
| 3. 地域におけることもの巡回所の充実 |
| 4. 家庭の教育力向上のための学習機会の充実 |
| 5. こどもの発達支援のための療育や訪問、ヘルパー派遣などの充実 |
| 6. こどもの発達やこともの大切さを学ぶことができる場の充実 |
| 7. こどもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実 |
| 8. 原簿維持やいじめなどに対する対応の充実 |
| 9. 障がいのあるこどもが地域で安心して生活できるよう障がい児関係の充実 |
| 10. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実 |
| 11. 教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実 |
| 12. 仕事と子育てが両立できるよう学習机施設の新設や内容の充実 |
| 13. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に对する当件 |
| 14. その他() |

問 40 過去1年間に、次の手当てや運動などを要したことがありますが、①～④のそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	受けている	受けたことがある	受けたことがない
① 就学援助*	1	2	3
② 児童扶養手当*	1	2	3
③ 生活保護	1	2	3
④ 養育費	1	2	3

注1：学校給食費や学習用品費等の支払いにお困りの保護者の方に対し、申請にもとづいて費用の一部を補助する制度です。
注2：ひとり親世帯等(父または母が専業主婦がいる世帯をさす)で、18歳に達した中高生(中高校以上の制がいのある児童は20歳)までの児童を養育している方に支給される手当です。

問 41 お子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか(留学を含む)。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|---------------------|
| 1. 中学まで | 2. 高校まで | 3. 高校まで(海外) |
| 4. 短大・高専・専門学校まで | 5. 大学卒まではそれぞれ以上 | 6. 大学卒まではそれぞれ以上(海外) |
| 7. まだわからない | | |

問 42 問41で「1」～「6」に○をつけた方にうかがいます。

その理由は何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. お子さんがそう希望しているから | 2. お子さんが学校になれると聞いたら |
| 3. 一般的に地力だと聞いたら | 4. お子さんの学力から考えて |
| 5. 家庭の経済的な状況から考えて | 6. その他() |
| 7. 特に理由はない | |

問 43 あなたが現在、または将来的に必要としていること、重要だと思ふ支援等ほどのようなもので
すか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. ことごとくや生活のことなど悩むことを相談できること 2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること 3. 地域の人が助けてもらえること 4. 離婚のことや養育費のことなどについて法的な相談ができること 5. 病状や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること 6. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること 7. 病状や出産、事故などの事件があったときに一時的にこどもを預けられること 8. ことごとの就学にかかる費用が軽減されること 9. 一時的に必要な資金を借りられること 10. 就労・転職のための支援が受けられること 11. 特になし 12. その他（ ） 	3
---	---

問 44 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 言葉も内容も知っている 2. 言葉は聞いたことがある 3. 知らない

注：ヤングケアラーとは、障がいや病状、要介護などを抱えていてケアを要する家族がおり、片親を担わざるを得ない状況で家事や家族の世話などを行なう18歳未満のこどもを指す言葉です。
ヤングケアラーは本来大人が担うべき、以下のようなケアを行っています。
障がいや要介護などを抱える家族の入院や介護をする。
病状で働けない親の代わりに労働を行う。

問 45 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますが、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人に様子を聞く 2. 家族、知人、友人に相談する 3. 先生や福祉の専門等に相談する 4. 関係機関に相談する 5. 何もしない 6. わからない 7. その他（ ）

問 46 最後に、戸田市でどのような子育てができるようになると思いますか、あなたが子育てを
されている中で、戸田市が行っている施策で役に立ったこと、良かったと感じていることや改善
または充実してほしいと感じることについて、ご意見がございましたら、ご自由に記入くださ
い。



戸面向の施策については、
こちらを参考にしてください。

戸田市子育て未来応援プラン

検索

同封の封筒に入れて、切手は貼らずに12月22日(金)までにご返送くださ
い。アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。



子育てに関することがあればご相談ください。

URL : <https://www.city.ashi.va.jp/kodomo/documents/14kosodatemikomaruhtogaaraba.pdf>

3 小学生

小学生用

アンケート調査のお願い このアンケートは小学4年生以上の方、ご本人がお答えください。
このアンケートは、みなさんのご自身の生活などを知り、自治体の子育て支援を
どのようにすればよいかを、考えるために必要な調査です。あなたの名前を書く必要はありませんので、
自分の考えていることを答えてください。

1. あなたのふだんの生活について

問1 あなた自身が思う性別をお答えください。(1つに○) 3に○をした時は、()の甲に自分で答えた答えを書いてください。

1. 男性 2. 女性 3. ()

問2 あなたは学校がある日は何時間起きる朝何時ごろに起きますか。(1つに○)

1. 午前6時より前
2. 午前6時～6時29分
3. 午前6時30分～6時59分
4. 午前7時～7時29分
5. 午前7時30分～7時59分
6. 午前8時～8時29分
7. 午前8時30分以上

問3 あなたは朝ごはんを食べていますか。(1つに○)

1. 週6日以上食べる
2. 週4～5日は食べる
3. 週2～3日は食べる
4. ほとんど食べない

問4 問3で2～4に○をした方におきます。

あなたが、朝ごはんを食べないときがあるのをお知らせください。(1つに○) 6「その他」に○をした時は、()の甲に自分で答えた答えを書いてください。

1. 食べる時間がないから
2. 食べたくないから (食前がないから)
3. 太りたくないから
4. 朝ごはんの用意がないから
5. おうちの人も朝ごはんを食べていないから
6. その他 ()

問5 あなたは通みかきをどのくらいしますか。(1つに○)

1. 1日2回以上通みかきをする
2. 1日1回通みかきをする
3. 全く通みかきをしないうちが週に1～4回ある
4. 全く通みかきをしないうちが週に5日以上ある

問6 あなたは、夏の日(夏)に学校がある日は、何時ごろに寝ますか。(1つに○)

1. 午後9時より前
2. 午後9時～9時29分
3. 午後9時30分～9時59分
4. 午後10時～10時29分
5. 午後10時30分～10時59分
6. 午後11時～11時29分
7. 午後11時30分～11時59分
8. 午前0時～0時29分
9. 午前0時30分～0時59分
10. 午前1時以降

小学生-1

問7 あなたは、夕ごはんを子どもだけ(大人だけを含む)で食べることがありますか。(1つに○)

1. ほとんど毎日
2. 週に4～5日
3. 週に2～3日
4. 週に1日程度
5. ほとんどない

2. 学校について

問8 あなたは、どの学校に通っていますか。(1つに○) 5「その他」に○をした時は、()の甲に自分で答えた答えを書いてください。

1. 幼稚園
2. 保育園
3. 国立
4. 私立
5. その他 ()

問9 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。(1つに○)

1. 楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない
4. 楽しくない

問10 問9で3～4に○をした方におきます。

楽しくない理由は何ですか、下の甲からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
9「その他」に○をした時は、()の甲に自分で答えた答えを書いてください。

1. 授業がわからないから
2. 友だちがいないから
3. いやな友だちがいるから
4. 先生が怒りや罵詈雑言を聞いてくれないから
5. 学校のまわり(校前)がまひしいから
6. なんでも自由にできないから
7. 家で勉強することがあって、学校で勉強することができないから
8. 夜ふかしなどで朝学校の授業がつかないから
9. その他 ()
10. 知らない

問11 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(1つに○)

1. 中等まで
2. 高校まで
3. 高校まで(海外)
4. 短大、高等専門学校まで
5. 大学またはそれ以上
6. 大学またはそれ以上(海外)
7. まだわからない

問12 問11で選択したその理由について、下の甲からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。B「その他」に○をした時は、()の甲に自分で答えた答えを書いてください。

1. 希望する学校や職業があるから
2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから
4. 景・跡がそうしているから
5. 周りの友達や友達からそうしているから
6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから
8. その他 ()
9. 十分に理由はない

小学生-2

問13 あなたは、音楽、勉強したいと思いますか。(1つに○)

1. 勉強したいと思う
2. 勉強したいと思わない
3. わからない

問14 問13で選択した番号の理由について、下の甲に記入をしてください。

--

3.放課後の過ごし方について

問15 あなたは放課後の時間が楽しいですか。(1つに○)

1. 楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない
4. 楽しくない

問16 問15で3～4に○をした次におきます。

楽しくない理由は何ですか。下の甲からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

6 「その他」に○をした時は、() の甲に自分で考えた答えを書いてください。

1. 一緒にいる友だちがいないから
2. いやな友だちがいるから
3. 休みや遊具を借りてくれる友だちがいらないから
4. なんでも自由にできないから
5. 家で心配なことがあって、集中できないから
6. その他 ()
7. 籍にない

問17 あなたは放課後に、だれと過ごすことが一番多いですか。(1つに○) 7 「その他」に○をした時は、() の甲に自分で考えた答えを書いてください。

1. 家族のおとな
2. 家族以外のおとな
3. 学校の友だち
4. 学校以外の友だち
5. まようだい
6. 1人でいる
7. その他 ()

問18 あなたは放課後に、どこで過ごすことが一番多いですか。(1つに○) 10 「その他」に○をした時は、() の甲に自分で考えた答えを書いてください。

1. 自分の家
2. 友だちの家
3. じゅくや習いごと
4. 学校
5. キッズスクエア
6. 学童保育
7. 公民施設 (図書館・児童センター・体育館など)
8. 公園
9. お店
10. その他 ()

小学生-3

問19 あなたは自宅にいたときの時間が楽しいですか。(1つに○)

1. 楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない
4. 楽しくない

問20 問19で3～4に○をした次におきます。

楽しくない理由は何か。下の甲からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

8 「その他」に○をした時は、() の甲に自分で考えた答えを書いてください。

1. いつもう一人だけから
2. 家族にいやなことを言われるから
3. 家族に悪ふるふられることがあるから
4. 休みや遊具を借りてくれる友だちがいらないから
5. 好きなことができる時間がないから
6. 家で心配なことがあって、集中できないから
7. 部屋から音楽や映像などの世話をしてくれないから
8. その他 ()
9. 籍にない

問21 家族の甲にあなたがお世話している次はありますか。(ここで「お世話」とは、あつち大人が行うような家事や家族のお世話のことを指します。問22の甲の甲を参考にしてください) (1つに○)

1. いる
2. いない

問22 問21で1に○をした次におきます。

あなたはどのようなお世話をしていますか。下の甲からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。11 「その他」に○をした時は、() の甲に答えを書いてください。

1. 家事 (食卓の準備や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)
2. まようだいのお世話や学習面などへの送り迎え
3. 着替えや入浴、トイレの手伝いなど
4. 洗濯や買い物の送迎と一緒に行き、手助けをする
5. 送りこたを聞く、話し相手になる
6. 見守り (帰ったり、寝ないことをしたりしないか見守るなど)
7. 通訳 (日本語の通訳や手話での通訳など)
8. 家のお金の管理 (お金の使い道を考えたり、しほつたりするなど)
9. 家の管理 (葉を飲んだか確認したり、戻したりするなど)
10. 家計のサポート (家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること)
11. その他 ()

小学生-4

問23 問21で1に○をした人におきます。
お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。下の枠からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 学校を休んでしまう | 2. 遅刻や早退をしてしまう |
| 3. 宿題など勉強をする時間が足りない | 4. 眠る時間が足りない |
| 5. 友だちと遊ぶことができない | 6. 習い事ができない |
| 7. 自分の時間が取れない | 8. その他 () |
| 9. 朝にない | |

4. あなたの考えについて

問24 あなたは、自分のことについてどう思いますか。(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○をしてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
(1) 自分にはよいことがある	1	2	3	4
(2) 失敗すると顔に進めないと思う	1	2	3	4
(3) 自分には将来の夢や目標がある	1	2	3	4
(4) 何かをするときは、他の人からどのように身られるか気になる	1	2	3	4
(5) 頑張れば、いいことがある	1	2	3	4

問25 あなたには、学ばやんでいることや心配なこと、困っていること、たれかに相談したいと思っ
ていることがありますか。下の枠からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
10 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 学校での生活のこと | 2. 友だちのこと | 3. 家族のこと |
| 4. 勉強のこと | 5. 家での生活のこと | 6. しやくや楽しいこと |
| 7. 将来・進路 | 8. 体調・健康 | 9. とくにない |
| 10. その他 () | | |

問26 心配ことや悩みがあるとき、話ししたり、相談したりできる人がいますか。下の枠からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

- | | | |
|-------------------|----------------|-----------|
| 1. 家族のおとな | 2. 学校の先生 | 3. 学校の友だち |
| 4. 塾以外の友だち | 5. きょうだい | |
| 6. 家族、学校の先生以外のおとな | 7. インターネット・SNS | 8. とくにいない |
| 9. その他 () | | |

5. こどもの権利について

※ 「こどもの権利」とは、「子どもの権利条約」に定められている次の4つの権利があります。
① 生まれる権利…命が守られて、大切にされること。病気になることや、けがをしたときには治療を受ける権利。
② 育つ権利…教育を受け、飲んだり遊んだりできること。考えや信じることの自由が守られ、自由に表現できること。
③ 守られる権利…暴行や危ないことなどから守られること。自分のこと、家族のこと、人に知られたくないときはそれを守ることができること。
④ 参加する権利…自由に自分の考えや意見を言えること。集まってグループをつくらったり、自由な活動を行ったりできること

問27 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると感じますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

問28 問27で3～4に○をした人におきます。
それはどんなことですか。下の枠からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. いじめにあっているから | 2. 大人から暴力をふるわれているから |
| 3. 自分のことを自分で決められないから | 4. 大人から差別的な扱いをうけているから |
| 5. 自分自身の考えを認められることがあるから | 6. 病気に連れて行ってもらえないから |
| 7. わからない | 8. その他 () |

問28 あなたは、親や家族の人にあなたの意見を聞いてもらえていますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|
- 問28-1 それはどんなことですか。下の甲からあてはまるものがあれば必ず○をしてください。
10 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。
- | | | |
|--------------|-------------|-----------------|
| 1. 学校での生活のこと | 2. 友だちのこと | 3. 家族のこと |
| 4. 勉強のこと | 5. 家での生活のこと | 6. しゅくや面白いことのこと |
| 7. 将来・進路 | 8. 体罰・健康 | |
| 9. その他 () | | |

問28-2 問28で2に○をした人にお聞きします。意見を聞いてもらえなかった時にどのようなお話をしましたか。(1つに○) 4 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 引き続き意見を繰り返した | 2. あきらめた |
| 3. 他の人に意見を言った | 4. その他 () |

問29 あなたは、学校の先生にあなたの意見を聞いてもらえていますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|
- 問29-1 それはどんなことですか。下の甲からあてはまるものがあれば必ず○をしてください。
10 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。
- | | | |
|--------------|-------------|-----------------|
| 1. 学校での生活のこと | 2. 友だちのこと | 3. 家族のこと |
| 4. 勉強のこと | 5. 家での生活のこと | 6. しゅくや面白いことのこと |
| 7. 将来・進路 | 8. 体罰・健康 | 9. とくになし |
| 10. その他 () | | |

問29-2 問29で2に○をした人にお聞きします。意見を聞いてもらえなかった時にどのようなお話をしましたか。(1つに○) 4 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 引き続き意見を繰り返した | 2. あきらめた |
| 3. 他の人に意見を言った | 4. その他 () |

問30 あなたは、差別・暴力・いじめを受けたことがありますか。また、したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 差別や暴力、いじめを受けた | 2. 差別や暴力、いじめをした |
| 3. どちらもありません | 4. どちらもない |

問31 こどもの権利の中でより充実をしていく必要があると思うものはどれですか。(最大3つまで○をつけてください)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 人種、性別、宗教、国籍の有無などで差別されないこと |
| 2. 暴力や言葉で脅かされないこと |
| 3. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもちこと |
| 4. 自分の考えを自由に言えること |
| 5. 人と違う自分らしさが認められること |
| 6. 自分の秘密が守られること |
| 7. 自分のことは自分で決められること |
| 8. 自由な時間をもちこと |
| 9. 自由は自分で決めてグループを作り集まれること |
| 10. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること |
| 11. 保護者から意見を聞かれること(食事、遊園地など) |

前32 ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。
なにか悩みことや、心配なことなどがあるときは、次のところで相談できます。

(1) 児童相談所全国共通ダイヤル 189 (無料) 本人の家族に暴力をふるわれる、

被害を作ってもらえない、

重い鬱気になっても病院に連れて行ってもらえない、

無視される、

きょうだい間で差別をされる、

目の前で家族に対して暴力をふるうなど

このようなことをされたら、迷わず相談してください。

URL : https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kesocare/dia_189.html



(2) 子どもの人権110番 0120-007-110 (無料)

友達から「いじめ」にあつて学校に行きたくない、

家の人はいやなことされる、

部活動で暴言・暴力を受けているなど、

先生や頼りに話しくいけど、このままではどうしていいかわからない、

誰も気づいてくれない・・・

このような悩みがあったら、迷わず電話してください。

「まわりでこんなことで困っている人がいる」という相談でもいいです。

メールやLINEでも相談ができます。

URL : <https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html>



(3) 青島市ヤングケアラー相談窓口

通常、大人が行う家事や家族のお世話している

家事や家族のお世話で学校を休んでしまふ、勉強ができない、

自分の自由な時間がないなどで悩んでいたら相談してください。

URL : <https://www.city.ashiya.lg.jp/kodomo/documents/yungkea.pdf>



小学生-9

4 中学生保護者

中学生保護者用

子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力のお願い～

【ご協力のおお願い】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
戸屋市では、『子育て未来応援プラン「あしや」』（令和2～6年度）を決定し、子育て支援施策を推進しております。

次期計画の策定にあたり、市民の皆さまの教育・保育・子育て支援に関する各施策の今後の取り組みを検討するため、本調査を行います。

このアンケートは、令和7年度からの5か年の事業計画を決める大切なものですので、ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

※ この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの就学のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただきます。

※ ご回答は、すべて無記名で、個人が特定されることや、他の目的に使用することはありません。

令和5年11月

戸屋市長 高島 貞輔

To those who require this survey in English

(英語の翻訳を必要とする方へ)

Answering this survey is optional. An English version of this survey is available. Therefore, if you would like to participate in this survey, please send an e-mail to the following address. Thank you for your cooperation. E-mail: kosodatesuisin@city.ashiya.lg.jp

- ご回答は、できるかぎり封筒の宛名のお子さんの保護者の方にお願ひしますが、ご家族の方や一隣にお住まいの方にもご協力がいただけますようお願いいたします。
- 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している段階もありますので、最終頁までご回答ください。返却していただく方を限定していません。
- 番号を選ばない場合は、当てはまる項目の番号を、指定の数字だけOで囲んでください。
- 時刻を記入するところは、当てはまる時刻を、24時間表記で記載してください。
〔例〕9時30分～17時00分、17時30分まで
- ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、**12月22日(金)までにご返送ください。(切手は不要です。)**
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問合せ】 戸屋市子ども福祉部 子ども家庭課

電話: 38-2045 (平日9:00～17:30 (12:00～12:45は除く))

FAX: 38-2190

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる所に○をつけてください。

地区		【参考】 小学校区			
1. 築地町	2. 奥池田町	3. 奥山	4. 大瀬町	5. 上岩川町	山王小学校区 ※一部調整区域あり
6. 観鈴	7. 三條町	8. 三条町	9. 清水町	10. 月形町	
11. 葉平町	12. 西戸邊町	13. 西山町	14. 栗戸塚切	15. 杉戸町	
16. 前田町	17. 松ノ内町	18. 山戸原町	19. 山手町		
20. 岩瀬町	21. 柿町	22. 野三宮町	23. 藁ヶ丘町	24. 六瀬町	
25. 朝日ヶ丘町	26. 栗山町				朝日ヶ丘小学校区
27. 伊勢町	28. 大瀬町	29. 川西町	30. 公光町	31. 橋西町	
32. 竹園町	33. 茶屋之町	34. 津和町	35. 浜戸塚切	36. 平田北町	晴道小学校区
37. 平田町	38. 萩原町				
39. 打出小塚町	40. 鳴川町	41. 西瀬町	42. 茶町	43. 香川町	香川小学校区
44. 宮原町	45. 若沼町				
46. 打出町	47. 豊日町	48. 大栗町	49. 南宮町		
50. 知床町	51. 潮見町	52. 京速町	53. 緑町	54. 南浜町	河原小学校区
55. 西光町	56. 新栗町				※一部調整区域あり
57. 高浜町	58. 新浜町	59. 浜邊町			浜屋小学校区

2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

平成 年 月 日生まれ

問3 お子さんのきょうだいはいくらいますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。

きょうだい数 人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者(パートナー)がいる 2. 配偶者(パートナー)はいない

問6 お子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父親と共 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他

問7 何人家族ですか。
※単身赴任・入居・入系の方など、家族を一掃にしたり、定期的に帰省する方は家族の人数に含めて回答してください。

家族の人数(おふたを合計) 人

中学生-1

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 8 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い
2. 楽しいことと辛いこととを感じる事が同じくらい
3. 辛いと感じることが多い
4. わからない
5. その他 ()

問 9 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどはありませんか。

1. すくなくある 【問 10へ】
2. 少しある
3. ほとんどない 【問 11へ】

問 10 問9で「1. すくなくある」「2. 少しある」に○をつけられた方にうかがいます。子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- (1) ことにも関すること
1. 病気や発達障害に関すること
 2. 食事や栄養に関すること
 3. 子育て支援サービスのこと
 4. こどものしつけに関すること
 5. こどもと過ごす時間が十分に取れないこと
 6. こどもの教育・保育に関すること
 7. こどもの友だちつきあいに関すること
 8. こどもの登所・登園拒否など
 9. 特になし
 10. その他 ()

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者（パートナー）の協力が少ないこと
2. 配偶者（パートナー）と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいらないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲労が大きいこと
10. こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること
11. 特になし
12. その他 ()

問 11 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日頃別に祖父祖母の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父祖母の親族にみてもらえる
3. 日頃別にごともをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際にはごともをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問 12 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. いる/ある 【問 12-1へ】
2. ない 【問 13へ】

問 12-1 問12で「1. いる/ある」に○をつけられた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる場所は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父祖母の親族
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（児童センター等）・NPO
5. 保健所・保健センター
6. 学校教師
7. 先生・塾員・児童委員
8. かかりつけの医師
9. 自治体の子育て推進担当窓口
10. 社会福祉協議会（総合相談窓口）
11. 障がい児相談窓口（発達支援事業所等）
12. インターネット・SNS
13. その他 ()

問 13 **すべての方にかかります。**下記の相談機関で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

施設・事業	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後利用したい
①こども家庭・保健センター（こども家庭総合支援担当）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
②西宮こども家庭センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
③戸原健康福祉事務所（戸原保健所）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
④児童センター（土習川文化センター）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑤障がい児相談窓口（相談支援事業所等）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑥学校教員課	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑦カワフンセラリಂಗセンター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑧通級教室（のびのび学校）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑨青少年支援センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑩その他（ ）		1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ

問 13-1 あなたは問 13 で「利用したことがある」と答えた相談機関に対して、不満をもったことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. ある 【問 13-2 へ】
2. ない 【問 14 へ】

問 13-2 不満の理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スタッフの対応（態度、話しかけにくい等）
2. サービスの内容（相談が解決しにくい、十分ではないなど）
3. 雰囲気（全体の雰囲気になじみがない、汚れている、暗いなど）
4. 他の利用者（人が多すぎる、マナーが悪いなど）
5. 距離・アクセス（自宅から遠い、出かけるのに不便、駐車場がないなど）
6. その他（ ）

中学生-4

問 14 **すべての方にかかります。**ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年 1 年間（令和 4 年 1 月～令和 4 年 12 月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

※家族とは、問 7 で答えていただいた方全員のことで、
※収入には、月給や賞与などの他に、株式配当や別収入を合計してください。
※児童手当や就学奨励、生活保護などの公的支援手当は除いた額をお答えください。

世帯の収入は年間（ ）万円）くらい

問 15 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった
3. まれにあった 4. まったくなかった

問 16 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった
3. まれにあった 4. まったくなかった

問 17 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 電気料金 2. ガス料金 3. 水道料金 4. いずれも未払いはありません

問 18 **問 17 で 1～3 に○をつけた方にかかります。**あなたの世帯で、節約するのであればどの分野の費用を節約できますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 食費 2. 娯楽費 3. 教育費 4. 住居費
5. 光熱水費 6. 通信費 7. 遊園費
8. その他（ ）

中学生-5

問 19 下記の施設や事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、該当するところに○をつけてください。

施設・事業	A 知っている			B 利用したことがある			C 今後利用したい		
①図書館(分室含む)									
②市民センター・公民館									
③青少年センター・体育館									
④児童センター(上宮川文化センター)									
⑤相談支援事業所等									
⑥特別支援教育センター(保健福祉センター) 障がいのあることに対応する教育的支援を行う拠点									
⑦スタディールーム(こども家庭・保健センター)									
⑧ミュージックスタジオ(こども家庭・保健センター)									
⑨こども家庭・保健センター(子育て世代包括支援センター・こども家庭総合支援室) 社通明から18歳までのこどもと家庭について、すべての相談・援助を行う。									

4. お子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

問 20 お子さんの保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業、以下同様)で就業している } **【(1)-1へ】**

2. フルタイムで就業しているが、産休・育休・介護休業中である

3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就業、以下同様)で就業している

4. パート・アルバイト等で就業しているが、産休・育休・介護休業中である

5. (お子さんが生まれる前を含め)以前は就業していたが、現在は就業していない } **【(2)へ】**

6. (お子さんが生まれる前を含め)これまで就業したことがない

(1)-1 **【1】で「1」～「4」(就業している)に○をつけてお方にうかがいます。**
 1週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間(就業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
 就業日数や就業時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間 分

家を出る時間 時 分 帰宅時間 時 分

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業、以下同様)で就業している } **【(2)-1へ】**

2. フルタイムで就業しているが、産休・介護休業中である

3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就業、以下同様)で就業している

4. パート・アルバイト等で就業しているが、産休・介護休業中である

5. (お子さんが生まれる前を含め)以前は就業していたが、現在は就業していない } **【(2)へ】**

6. (お子さんが生まれる前を含め)これまで就業したことがない

(2)-1 **【2】で「1」～「4」(就業している)に○をつけてお方にうかがいます。**
 1週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間(就業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
 就業日数や就業時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間 分

家を出る時間 時 分 帰宅時間 時 分

問 21 問 20 の (1) または (2) で「3」、「4」、「パート・アルバイト等」で就労している) に○をつけたい方がいます。該当しない方は、問 23 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 22 問 20 の (1) または (2) で「5 以前は就労していたが、現在は就労してはいない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけたい方がいます。該当しない方は、問 23 へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する__には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが__歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等

→1 週当たり__日

1 日当たり__時間__分

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが__歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等

→1 週当たり__日

1 日当たり__時間__分

5. すべての方に、お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 23 お子さんについて、放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、通じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は()もご記入ください。

- | | | | |
|-----------------------------|-----------|------|------|
| 1. 祖父祖母や叔父・叔母 | 週() 日() | 日() | 日() |
| 2. 学校 (部活動等) | 週() 日() | 日() | 日() |
| 3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等) | 週() 日() | 日() | 日() |
| 4. 児童館や児童センターなど公共の施設 | 週() 日() | 日() | 日() |
| 5. 体育館や遊園地など公共の施設 | 週() 日() | 日() | 日() |
| 6. コミスクイ | 週() 日() | 日() | 日() |
| 7. 障がい児支援施設等 | 週() 日() | 日() | 日() |
| 8. その他() | 週() 日() | 日() | 日() |

注 1 地域社会の中で、文化活動・スポーツ活動・福祉活動・地域活動等を通じて、よりよいコミュニティの創進・発展を図ることを目的に活動している団体

注 2 児童と関係、その地域通園時など必要な支援を受けたり、心身の発達に支援を要する児童が、通所により放課後を過ごしたとする施設

問 24 家の近くのこどもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますが、当てはまる番号 3 つまで○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない
2. 後の日に遊べる場所がない
3. 思い通りの遊具のために十分遊べない
4. 遊具 (遊具のバスケットコート等) などの遊具が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも開放としていて静しくない感じがする
7. 緑などの自然が少ない
8. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
9. 遊び場周辺の道路が危険である
10. 特に感じることはない
11. その他()

問 25 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場所ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. こどもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場
2. こどもが放課後などに集まって、こども同士で自主活動などができる場
3. こどもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場
4. こども自身が悩みを相談できる場
5. その他()

6.子どもの権利についてうかがいます。

問 26 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- ※ 『子どもの権利』とは、「子どもの権利条約」に大きく分けて4つの権利が定められています。
- ①生きる権利…住む場所や食べ物がある。医療が受けられる。命が守られる。
 - ②育つ権利…教育が受けられる。持っている能力を伸ばす。
 - ③守られる権利…虐待を受けない。労働を強要されない。幸せを奪われない。
 - ④参加する権利…自分の意見を自由に言える。団体活動や集会を開ける。

1. 名前も内容も知っている
 2. 名前は知っているが内容は知らなかった
 3. 知らなかった

問 27 こどもの権利の中でより充実を図る必要があると思うものに○をつけてください。(最大3つまで○をつけてください。)

1. 人種、性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと
 2. 暴力や言葉で傷つけないこと
 3. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
 4. 自分の考えを自由に言えること
 5. 人と違う自分らしさが認められること
 6. 自分の秘密が守られること
 7. 自分からは自分で決められること
 8. 自由な時間をもつこと
 9. 自由な呼びかけでグループを作り集まれること
 10. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
 11. 保護者から世話をされること(食事、洗濯他)

問 28 あなたは、子育てをしながら、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 常にしている
 2. ときどきしている
 3. あまりしていない
 4. まったくしたことがない

7.すべての方に、芦屋市の今後の子育て施策についてうかがいます。

問 29 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1つに○をつけてください。

満足度が低い ← 1 2 3 4 5 → 満足度が高い

問 30 地域の人に頼まれた場合に、お互いにサポートできると思うことはありますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ちよっとした買い物
 2. 子育ての相談
 3. 短時間のこどもの預かり
 4. 保育園(園)・幼稚園・認定こども園の送迎
 5. 食事づくり
 6. 書類をみる
 7. 話し相手
 8. 近所のグループづくり
 9. 特になし
 10. その他()

注: 幼稚園と保育園の送迎や相談を合わせず、地域の子育て支援も行う施設

問 31 子育てをしながら仕事をを行う上での課題は何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. こどもと過ごす時間が短い
 2. 家事、育児の負担が大きい
 3. こどもがいない(回数など)勤務での理解不足
 4. こどもに十分な習得機会(習い事等)を確保できていない
 5. 保育園、幼稚園等の施設不足
 6. 配膳者との関係性
 7. 希望する開所に軒がない
 8. その他()
 9. 特になし

問 32 貴府の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 子育てに関する相談、情報提供の充実
2. 親子・親同士の交流の場の充実
3. 地域におけることもの居場所の充実
4. 家庭の教育力向上のための学習機会の充実
5. こともの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実
6. ことものが家庭やこともの大切さを学ぶことができる場の充実
7. こともの主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実
8. 児童虐待やいじめなどに対応する対策の充実
9. 障がいのあることものが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実
10. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
11. 教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実
12. 仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の数増や内容の充実
13. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に對する啓発
14. その他（ ）

問 33 過去1年間に、次の手当てや援助などを受けたことがありますか。①～④のそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	受けている	受けたことがある	受けたことがない
①就学援助等	1	2	3
②児童扶養手当	1	2	3
③生活保護	1	2	3
④養育費	1	2	3

注1：学校給食費や学用品費等の支払いにお困りの保護者の方に対し、申請にもとづいて費用の一部を援助する制度です。

注2：ひとり親世帯等（父または母が重傷障がい等の場合を含む）で、18歳に達した年連れ（中・高校生以上の障がいのある児童は20歳）までの児童を養育している方に支給される手当です。

問 34 お子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか（進学を含む）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 中学まで
2. 高校まで
3. 高校まで（海外）
4. 短大・高专・専門学校まで
5. 大学またはそれ以上
6. 大学またはそれ以上（海外）
7. まだわからない

問 35 問34で「1」～「6」に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. お子さんがそう希望しているから
2. お子さんが幸せに育せられると思うから
3. 一般的な進路だと困うから
4. お子さんの学力から考えて
5. 家庭の経済的な状況から考えて
6. その他（ ）
7. 特に理由はない

問 36 あなたが現在、または将来的に必要なとして、重要なと思う支援等はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ことものことや生活のことなど障がい者相談できること
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3. 地域の人から助けをもらえること
4. 職場のことや通学費のことなどについて適切な相談ができること
5. 病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること
6. 住宅や介護、要介護などの事情を軽減したりするための支援が受けられること
7. 病気や介護、要介護などの費用が軽減されること
8. こともの進学にかかるときの一時的に特設のことものを提供されること
9. 一時的に必要な資金を借りられること
10. 就労・転職のための支援が受けられること
11. 特にない
12. その他（ ）

問 37 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 言葉も内容も知っていない
2. 言葉は聞いたことがある
3. 知らない

注：ヤングケアラーとは、障がいや病気、要介護などを抱えていてケアを要する家族が住み、介護を担わざるを得ない状況で家事や家族の世話などを行なう18歳未満のことも指す言葉です。ヤングケアラーは必ず本人が担うべき、以下のようなケアを行っています。障がいや要介護などを抱える家族の生活や介護をする。病気で働けない親の代わりに労働を行う。

問 38 あなたは周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますが、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 本人に様子を見る
2. 家族、友人、友人に相談する
3. 先生や部活の顧問等に相談する
4. 関係機関に相談する
5. 何もしない
6. わからない
7. その他（ ）

問 39 最後に、声屋市でどのような子育てができるようになるか、あなたが子育てをされている中で、声屋市が行っている施策で役に立ったこと、良かったと感じていることや改善または充実してほしいと感じることについて、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

声屋市の施策については、
こちらを参考にしてください。



声屋市子育て未来応援プラン

検索



回封の封筒に入れて、切手は貼らずに12月22日(金)までにご返送ください。アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

子育てに困ることがあればご相談ください。

URL : <https://www.city.ashiya.lg.jp/kodomo/documents/14kosodaten/komarukotogaareha.pdf>



アンケート調査のお願い このアンケートは中学生の方、ご本人が回答してください。

このアンケートは、みなさんのご自分の生活などを知り、戸塚市の子育て支援をどのようにすればよいかを考えるために必要な調査です。あなたの名前を書く必要はありませんので、自分の考えていることを答えてください。

1. あなたのご自分の生活について

問1 あなた自身が思う性別を回答してください。(1つに○) 3に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 男性 2. 女性 3. ()

問2 あなたは学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。(1つに○)

1. 午前6時より前 2. 午前6時～6時29分
3. 午前6時30分～6時59分 4. 午前7時～7時29分
5. 午前7時30分～7時59分 6. 午前8時～8時29分
7. 午前8時30分以上

問3 あなたは朝ごはんを食べていますか。(1つに○)

1. 週6日以上食べる 2. 週4～5日は食べる
3. 週2～3日は食べる 4. ほとんど食べない

問4 問3で2～4に○をした人におきます。

あなたが、朝ごはんを食べないときがあるのはなぜですか。(1つに○) 6「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 食べる時間がないから 2. 食べたくないから (食欲がないから)
3. 太りたくないから 4. 朝ごはんの用意がないから
5. おうちの人も朝ごはんを食べていないから 6. その他 ()

問5 あなたは歯みがきをどのくらいしますか。(1つに○)

1. 1日2回以上歯みがきをする 2. 1日1回歯みがきをする
3. 全く歯みがきをしなない日が週に1～4日ある 4. 全く歯みがきをしなない日が週に5日以上ある

問6 あなたは、次の日に学校がある日は休みたい、何時ごろに寝ますか。(1つに○)

1. 午後9時より前 2. 午後9時～9時29分
3. 午後9時30分～9時59分 4. 午後10時～10時29分
5. 午後10時30分～10時59分 6. 午後11時～11時29分
7. 午後11時30分～11時59分 8. 午前0時～0時29分
9. 午前0時30分～0時59分 10. 午前1時以降

問7 あなたは、夕ごはんをこどもだけ(一人だけを含む)で食べることはありませんか。(1つに○)

1. ほとんど毎日 2. 週に4～5日
3. 週に2～3日 4. 週に1日程度
5. ほとんどない

2. 学校について

問8 あなたは、どの学校に通っていますか。(1つに○) 5「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 戸塚市立 2. 兵庫県立
3. 国立 4. 私立
5. その他 ()

問9 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。(1つに○)

1. 楽しい 2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない 4. 楽しくない

問10 問9で3～4に○をした人におきます。
楽しくない理由は何ですか、下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
9「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 授業がわからないから 2. 友だちがいないから
3. いやな友だちがいるから 4. 先生が怒みや言葉を聞いてくれないから
5. 学校のきまり(校則)がきびしいから 6. なんでも自由にできないから
7. 家で勉強することがあって、集中できないから 8. 履ふかしなどで遅く学校の授業がつらいから
9. その他 ()
10. 特になし

問11 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(1つに○)

1. 中学まで 2. 高校まで 3. 高校まで (海外)
4. 短大・高等専門学校まで 5. 大学またはそれ以上 6. 大学またはそれ以上 (海外)
7. まだわからない

問12 問11で選択したその理由について、下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。8「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 希望する学校や職業があるから 2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから 4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友達もそうしているから 6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから 8. その他 ()
9. とくに理由はない

問13 あなたは、将来、働きたいと思えますか。(1つに○)

1. 働きたいと思う 2. 働きたいと思わない
3. わからない

問 14 問 13 で選択した番号の理由について、下の中に記入をしてください。

3.放課後の過ごし方について

問 15 あなたは放課後の時間が楽しいですか。(1つに○)

- 1. 楽しい
- 2. どちらかといえば楽しい
- 3. どちらかといえば楽しくない
- 4. 楽しくない

問 16 問 15 で3～4に○をした人におきます。
楽しくない理由は何ですか、下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 一緒にいる友だちがいないから 2. いやな友だちがいるから
3. 休みや意見を聞いてくれる大人がいないから 4. なんて自由でできないから
5. 家で心配なことがあって、集中できないから 6. その他 ()
7. 特になし

問 17 あなたは放課後に、だれとすごすことが一番多いですか。(1つに○)
5 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 家族のおとな 2. 家族以外のおとな
3. 学校の友だち 4. 学校以外の友だち
5. その他 ()

問 18 あなたは放課後に、どこですごすことが一番多いですか。(1つに○)
8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 自分の家 2. 友だちの家
3. じゅくや習いごと 4. 学校
5. 公共施設 (図書館・児童センター・体育館など)
6. 公園 7. お店
8. その他 ()

問 19 あなたは自宅にいるときの時間が楽しいですか。(1つに○)

- 1. 楽しい
- 2. どちらかといえば楽しい
- 3. どちらかといえば楽しくない
- 4. 楽しくない

問 20 問 19 で3～4に○をした人におきます。
楽しくない理由は何ですか、下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. いつも一人だから 2. 家族にいやなことを言われるから
3. 家族に暴力をふるわれることがあるから 4. 悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから
5. 家事や自宅のことで自由がないから 6. 家で心配なことがあって、集中できないから
7. 両親から家事や洗濯などの世話をしてくれないから
8. その他 () 9. 特になし

問 21 家族の中にあなただがお世話している人はいいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。問 22 の囲みの中を参考してください。)(1つに○)

1. いる 2. いない

問 22 問 21 で1に○をした人におきます。
あなたはどのようなお世話をしていますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。11 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 食事 (食事の準備や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)
2. きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え
3. 着替えや入浴、トイレの手伝いなど
4. 洋服や重い物、散歩に一緒に行き、手助けをする
5. 困りごとを聞く、話し相手になる
6. 見守り (転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど)
7. 通訳 (日本語の通訳や手話での通訳など)
8. 車のお金の管理 (お金の使い道を考えたり、しらべたりするなど)
9. 荷物の整理 (車を洗ったか確認したり、洗ったりするなど)
10. 家計のサポート (家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること)
11. その他 ()

問 23 問 21 で1に○をした人におきます。
お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 学校を休んでしまう 2. 遅刻や早退をしよう
3. 宿題など勉強をする時間が足りない 4. 眠る時間が足りない
5. 友だちと遊ぶことができない 6. 習い事ができない
7. 自分の時間が取れない 8. その他 ()
9. 特になし

4. あなたの考えについて

問 24 あなたは、自分のことについてどう思いますか。(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○をしてください。

	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない
(1) 自分にはよいところがある	1	2	3
(2) 失敗すると前に進めないと思う	1	2	3
(3) 自分には将来の夢や目標がある	1	2	3
(4) 何かをするときは、他の人からどのように見られるか気になる	1	2	3
(5) 頑張れば、いいことがある	1	2	3

問 25 あなたは、今やんやんでいることや心配なこと、困っていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。10「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 学校での生活のこと
2. 友だちのこと
3. 家族のこと
4. 勉強のこと
5. 家での生活のこと
6. しゅくや習いごとのこと
7. 将来・進路
8. 体調・健康
9. とくにない
10. その他 ()

問 26 心配ことややんやみがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。9「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 家族のおとな
2. 学校の先生
3. 学校の友だち
4. 学校以外の友だち
5. きょうだい
6. 家族・学校の先生以外のおとな
7. インターネット・SNS
8. とくにいない
9. その他 ()

5. 子どもの権利について

※ 「子どもの権利」とは、「子どもの権利条約」に定められている次の4つの権利があります。

- ① 生きる権利…命が守られて、大切にされること。病気になったときや、けがをしたときには治療を受けられること。
- ② 育つ権利…教育を受け、休んだり遊んだりできること。考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。
- ③ 守られる権利…暴力や虐待などから守られること。自分のこと、家族のこと、人に知られたくないときほほそれを守ることができること。
- ④ 参加する権利…自由に自分の考えや意見を言えること。集まってグループをつくり、自由な活動を行ったりできること。

問 27 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえはそう思う
3. どちらかといえはそう思わない
4. そう思わない

問 27-1 問 27 で3～4に○をした人におきます。

それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。8「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. いじめにあっているから
2. 大人から暴力を振られているから
3. 自分のことを自分で決められないから
4. 大人から差別的な扱いを受けているから
5. 自分自身を触られることがあるから
6. 病院に連れて行ってもらえないから
7. わからない
8. その他 ()

問 28 あなたは、親や家族の人にあなたの意見を聞いてもらえていますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ

問 28-1 それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。9「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 学校での生活のこと
2. 友だちのこと
3. 家族のこと
4. 勉強のこと
5. 家での生活のこと
6. しゅくや習いごとのこと
7. 将来・進路
8. 体調・健康
9. その他 ()

問 28-2 問 28 で2に○をした人にお聞きます。意見を聞いてもらえなかった際にどのような対応をしましたか。(1つに○) 4「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 引き続き意見を繰り返した
2. あきらめた
3. 他の人に意見を言った
4. その他 ()

問 29 あなたは、学校の先生にあなたの意見を聞いてもらっていますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

問 29-1 それほどなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
9 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 学校での生活のこと 2. 友だちのこと
3. 家族のこと 4. 勉強のこと
5. 家での生活のこと 6. しゅくや習いごとのこと
7. 将来・進路 8. 体調・健康
9. その他 ()

問 29-2 問 29 で 2 に○をした人にお聞きします。意見を聞いてもらえなかった際にどのような対応をしましたか。(1つに○) 4 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 引き続き意見を繰り返した 2. あきらめた
3. 他の人に意見を言った 4. その他 ()

問 30 あなたは、差別・暴力・いじめを受けたことがありますか。また、したことがありますか。(1つに○)

1. 差別や暴力、いじめを受けた 2. 差別や暴力、いじめをした
3. どちらもある 4. どちらもない

問 31 こどもの権利の中でより赤雲をしていく必要があると思うものはどれですか。(最大3つまで○をつけてください)

1. 人種や性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと
2. 暴力や言葉で傷つけられないこと
3. 家族や言葉で優しく一緒に過ごす時間をもつこと
4. 自分の考えを自由に言えること
5. 人と違う自分らしさを認められること
6. 自分の秘密が守られること
7. 自分のことは自分で決められること
8. 自由な時間をもつこと
9. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
10. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
11. 保護者から世話を受けること(食事、洗濯など)

問 32 芦屋市のごとき、若者を支援する取組で期待すること・重要なことは何ですか。下の中からあてはまる3つまで○をつけてください。9 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 抱みを目標できる場所(メール、SNSなどを含む)をつくる
2. こども同士の交流の場をつくる
3. 学校でも家でもない居場所をつくる
4. いろいろな体験ができる機会を増やす
5. こどもの医療費がかららないようにする
6. 学習や就労費の負担を減らす
7. いじめや児童虐待などを防止する
8. 性や妊娠・出産への正しい知識を身に付ける
9. その他 ()

問 33 ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。
なにか悩みごとや、心配なことなどは、次のところで相談できま
す。

(1) 児童相談所全国共通ダイヤル 189 (無料)

大人の家族に暴力をふるわれる、
食事を作ってもらえない、
重い病気になるっても病院に連れて行ってもらえない、
無視される、
きょうだい間で差別をされる、
目の前で家族に対して暴力をふるうなど
このようなことをされたら、迷わず相談してください。



URL : https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dia_189.html

(2) 子どもの人権110番 0120-007-110 (無料)

友達から「いじめ」にあつて学校に行きたくない、
家の人によいやなことされる、
部活動で暴言・暴力を受けているなど、
先生や親には話しくいけど、このままではどうしていいかわからない、
誰も気づいてくれない・・・。

このような悩みがあったら、迷わず電話してください。
「まわりでこんなことで困っている人がいる」という相談でもいいです。
メールやLINEでも相談ができます。



URL : <https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html>

(3) 芦屋市ヤングケアラー相談窓口

通費、大人が行う家事や家族のお世話している
家事や家族のお世話で学校を休んでしまう、勉強ができない、
自分の自由な時間がなくて悩んでいるなら相談してください。
URL : <https://www.city.ashiya.lg.jp/kodomo/documents/yungkea.pdf>



芦屋市
子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書
令和6年3月

発行：芦屋市こども福祉部 こども家庭室こども政策課
兵庫県芦屋市精道町7番6号
電話：0797-38-2045
FAX：0797-38-2190